

# 取扱説明書

---

## MBP-12RU

MBP-1244 リモートコントロールユニット

MBP-1244 Remote Control Unit

---

1<sup>st</sup> Edition - Rev.4



## 使用上の注意

安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。

### 「電源電圧・電源コード」

 禁止	指定電圧以外の電源電圧は使用しないでください。
 プラグを抜け	電源コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。コードが傷つく恐れがあります。コードが傷ついたまま使用すると、火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードに重いものをのせたり落としたりしてコードを傷つけないでください。コードが傷ついたまま使用すると火災や感電の原因になります。
 注意	電源コードの被ふくが溶けたり、コードに傷がついたりしていないか、定期的にチェックしてください。

### 「設置」

 必ず行う	感電を避けるためアースをとってください。
 禁止	アースは絶対にガス管に接続しないでください。爆発や火災の原因になることがあります。
 注意	電源コードのプラグおよびコネクタは奥までしっかりと差し込んでください。

### 「内部の設定変更が必要なとき」

 必ず行う	電源を切ってから、設定変更の操作を行ってください。電源を入れた状態で設定が必要な場合は、サービス技術者が行ってください。
 触らない	過熱部分には触らないでください。やけどをする恐れがあります。
 注意	パネルやカバーを取り外したままで保管や使用をしないでください。内部設定終了後は必ずパネルやカバーを元に戻してご使用ください。

## 「使用環境・使用方法」

 禁止	高温多湿の場所、塵埃の多い場所や振動のある場所に設置しないでください。使用条件以外の環境でのご使用は、動作の異常、火災や感電の原因になることがあります。
 禁止	内部に水や異物を入れないでください。水や異物が入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、異物が入った場合は、すぐ電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて内部から取り出すか、販売代理店、サービスセンターへご相談ください。
 禁止	筐体の中には高圧部分があり、感電の恐れがあります。通常はカバーを外したり分解したりしないでください。
 禁止	通風孔を塞がないでください。この機器を正常に動作させるために、適量の空冷が必要です。機器の前面と背面は、他の物から5cm以上離してください。

## 「運搬・移動」

 注意	運搬時などに外部から強い衝撃を与えないように注意してください。機器が故障することがあります。機器を他の場所へ移動するときは、専用の梱包材をご使用ください。
---	---

## 「異常時の処置」

 必ず行う	電源が入らない、異臭がする、異常な音が聞こえるときは、内部に異常が発生している恐れがあります。すぐに電源を切り、販売代理店、サービスセンターまでご連絡ください。
---	--

## 「ゴム足の取り扱い」

 必ず行う	ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し、故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は、付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。
---	--

## 「消耗部品」

 注意	消耗部品が使用されている機器では、定期的に消耗部品を交換してください。消耗部品・交換期間の詳しい内容については、取扱説明書の最後にある仕様でご確認ください。なお、消耗部品は使用環境で寿命が大きく変わりますので、早めの交換をお願いいたします。消耗部品の交換については、販売代理店へお問い合わせください。
---	--

## 開梱および確認

---

このたびは、MBP-12RU リモートユニットをお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

### ◆ 構成表

品名	数量	備考
MBP-12RU	1	
電源ケーブル	1	
ラック取付金具	1セット	
取扱説明書	1	(本書)
MBP-12RU Switch Assign Builder	1	CD-ROM

## 確認

---

もし、品物に損傷があった場合は、直ちに運送業者にご連絡ください。品物に不足があった場合や、品物が間違っている場合は、販売代理店までご連絡ください。

# 目次

---

1. 概要および特長 .....	1
1-1. 概要.....	1
1-2. 特長.....	1
1-3. この取扱説明書について.....	1
2. 各部の名称と機能 .....	2
2-1. 前面パネル.....	2
2-1-1. 選択ボタン.....	2
2-2. 背面パネル.....	3
3. 準備 .....	4
3-1. 電源を入れる.....	4
3-2. IPアドレスの設定 .....	4
3-3. 接続.....	6
3-4. メニューの操作方法.....	7
3-4-1. メニュー構成.....	7
3-4-2. メニュー画面を表示する .....	8
3-4-3. メニューの移動.....	9
3-4-4. 基本操作.....	10
3-4-4-1. GUI操作 .....	10
3-4-4-2. 前面パネルボタン .....	10
3-4-4-3. つまみ .....	10
3-4-4-4. 設定例 .....	10
3-5. 電源を切る.....	11
3-6. その他注意事項.....	11
4. 操作 .....	12
4-1. MUを切り換える .....	12
4-1-1. 前面パネルのボタンを使う .....	12
4-1-2. メニューを使う .....	12
4-2. TVフォーマット/ゲンロックタイプを設定する.....	13
4-2-1. TVフォーマット/ゲンロックタイプの確認.....	13
4-2-2. TVフォーマットを変更する.....	13
4-2-3. ゲンロックタイプを変更する.....	14
4-3. 出力映像を選択する.....	15
4-3-1. MBP-1244 .....	15
4-3-2. MBP-100CK.....	16
4-3-3. 前面パネルのボタンを使う .....	17
4-3-4. メニューを使う .....	18
4-4. 合成映像のレイヤを設定する.....	19
4-4-1. MIXER1の合成レイヤをRCGまたはVIRTUALモードにする.....	19
4-4-2. MIXER1のレイヤ構成を自由にアサインする.....	20
4-4-3. MIXER1の各レイヤの合成状態を変更する.....	22
4-5. クロマキー映像を作成する (MBP-12CK or MBP-100CK) .....	23
4-5-1. オートクロマキー .....	23
4-5-2. マニュアルクロマキー .....	23
4-6. カメラ映像を静止画としてキャプチャする (MBP-100CK) .....	24
4-6-1. カメラ映像をキャプチャする .....	24

4-6-2. キャプチャした画像をクロマキー素材として使用する .....	25
4-7. 静止画ファイルを <b>STILL</b> として使用する (MBP-100CK) .....	26
4-8. イベントを使う .....	27
4-8-1. イベントを保存する .....	27
4-8-2. イベントを読み込む .....	27
4-9. 操作禁止処理 .....	28
4-9-1. On Air ロック (標準機能) .....	28
4-9-2. Exclusive ロック .....	29
4-9-2-1. 自分自身がロックを有効にしたとき .....	29
4-9-2-2. 自分以外のクライアントからロックされたとき .....	30
4-9-3. Operation ロック .....	31
4-10. フリーアサイン機能 .....	32
5. メニュー詳細 .....	36
5-1. カメラ選択 .....	36
5-2. MU 選択 .....	37
5-3. TOP .....	38
5-4. SETUP .....	41
5-4-1. VIDEO メニュー .....	41
5-4-1-1. TV フォーマット選択パネル .....	43
5-4-2. DELAY SETTING メニュー .....	44
5-4-3. OUTPUT OPTION メニュー .....	46
5-4-4. NETWORK メニュー .....	48
5-4-5. RU SETTINGS メニュー .....	50
5-4-6. SWCONFIG パネル .....	51
5-5. CK メニュー .....	52
5-5-1. AUTO CK メニュー .....	52
5-5-2. MANUAL CK メニュー .....	54
5-5-3. BACK GROUND CONDITION .....	57
5-5-4. MATTE DENSITY FINE TUNING メニュー .....	58
5-5-5. COLOR SUPPRESSION FINE TUNING .....	60
5-5-6. FG OPTION メニュー .....	63
5-5-7. MATTE OPTION メニュー .....	65
5-5-8. WINDOW MASK メニュー .....	67
5-5-9. COLOR ADJUST メニュー .....	70
5-6. MIX&OUT メニュー .....	72
5-6-1. MIXER1 SETTING メニュー .....	72
5-6-2. MIXER2 SETTING メニュー .....	75
5-6-3. OUTPUT SELECT メニュー .....	78
5-7. STILL & CAPTURE メニュー (MBP-100CK) .....	81
5-7-1. STILL メニュー .....	82
5-7-2. CAPTURE メニュー .....	83
5-8. EVENT メニュー .....	86
5-8-1. 文字列入力パネル .....	87
5-9. 数値入力パネル .....	89
6. 仕様および外観図 .....	91
6-1. 仕様 .....	91
6-2. 外観図 .....	91

付録 1 .....	92
<b>MBP-12RU Switch Assign Builder</b> .....	92
ソフト概要.....	92
ソフトのインストール.....	92
アサインを変更する.....	92
アサインを <b>RU</b> に反映する .....	93
ボタンラベル.....	95

# 1. 概要および特長

---

## 1-1. 概要

---

MBP-12RUは、バーチャル仕様マルチメディアプラットフォーム MBP-1244 を制御するためのリモートユニットです。また、MBP-100CK および MBP-12CK クロマキーオプションの操作も可能です。MBP-12RU とは別に、コンピュータソフトウェアベースによる MBP-1244 および MBP-100CK 制御も御用意しています (MBP-12GUI)。

MBP-1244 搭載の Brainstorm PC および MBP-100CK には、MBP-12Server がインストールされています。MBP-12RU および MBP-12GUI は、このサーバーを介して TCP/IP プロトコルにより MBP-1244 および MBP-100CK を制御します。ひとつの MBP-12RU から 5 台までの MBP-1244 または MBP-100CK を切り換えて制御できます。複数の MBP-12RU または MBP-12GUI から同じ MBP-1244 または MBP-100CK を操作することもできます。ひとつのネットワークに 5 台までのネットワーク機器の配置が可能です。

## 1-2. 特長

---

- MBP-1244/MBP-100CK を 5 台まで操作可能
- MBP-1244/MBP-100CK との接続はイーサネット経由 (100BASE-TX)
- MBP-1244/MBP-100CK の制御は MBP-12GUI と併用可能
- タッチパネルによる簡単操作
- キーボード、マウス、USB メモリなどの USB 機器の使用が可能
- 前面パネルボタンのカスタマイズが可能

## 1-3. この取扱説明書について

---

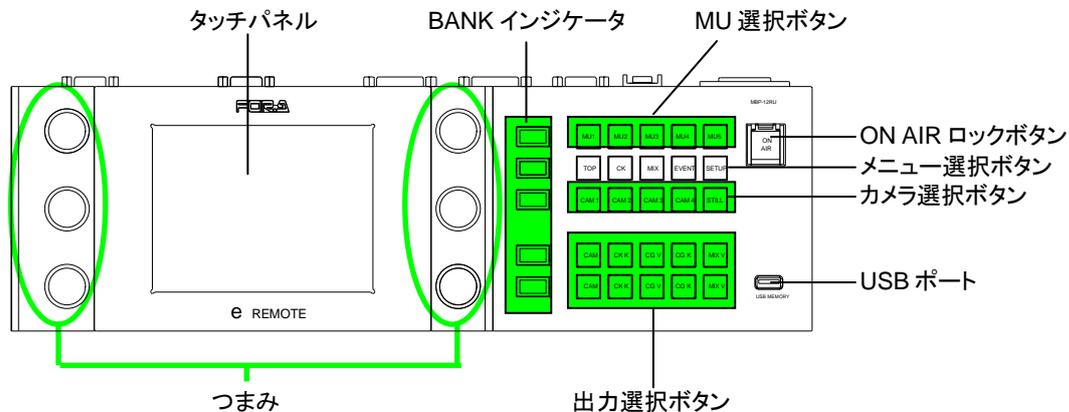
本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をよくお読みください。また、本書はお読みになった後も大切に保管してください。

この取扱説明書では以下の表記法を使用しています

- □で囲った文字 (**MATT**) は オペレーションパネルのボタン をあらわします。
- 網掛け文字 (**ON**) はメニュー内の項目および設定値を表します。

## 2. 各部の名称と機能

### 2-1. 前面パネル



名称	説明	参照
タッチパネル	メニューの表示／設定を行います。	
つまみ	メニュー設定（数値変更）に使用します。	
BANK インジケータ	ボタン配列の各バンク（ボタン列）の機能を表示します。 （カスタマイズ可能）	付録
MU 選択ボタン	制御する MBP-1244/100CK を選択します。	5-2
ON AIR ロックボタン	MBP-1244/100CK の操作をロックします。再度 ON AIR ロックボタンを押すまで、MBP-1244/100CK の操作はできなくなります。	4-9
メニュー選択ボタン	タッチパネルに各種メニューを表示します。	3-4-2
カメラ選択ボタン	使用するカメラを選択します。	5-1
出力選択ボタン	上段は OUT1 の出力映像選択ボタンです。 下段は OUT2 の出力映像選択ボタンです。	4-3-2
USB ポート	USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器の接続に使用します。 USB2.0 対応、A タイプコネクタ	

#### 2-1-1. 選択ボタン

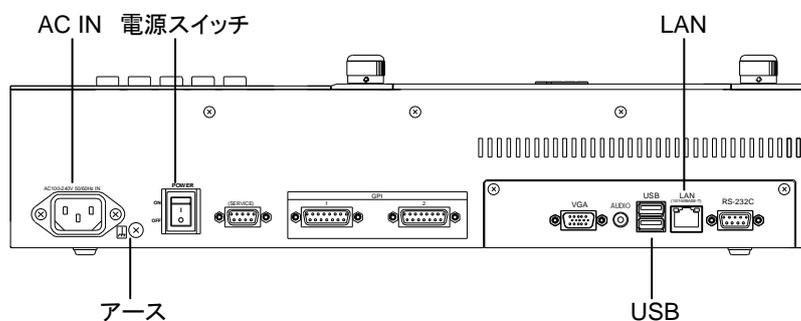
各選択ボタンには上記のように機能が割り当てられており、押すことによって、機能を実行することができます。またこのボタンスイッチには以下のような特徴があります。

- どのメニューを表示しているときでも、ボタンを押すと表示されている機能呼び出します。
- 選択できるボタンは緑、選択中のボタンはオレンジに点灯し、選択できないボタンは無灯となります。
- 各ボタンの機能は選択オプションから自由に選択し割り当てることができます。

次の表に各ボタンの標準機能詳細を記述します。（ボタンのバンク（ボタン列）表示は上記図の上から順に 1～5 段となっています）

バンク	ボタン名		操作	動作
1	MU 選択ボタン	MU1~5	ボタンを押す	操作する MU を選択します
2	メニュー選択ボタン	TOP	ボタンを押す	「TOP」メニューを表示します
		CK	ボタンを押す	「CK」メニューを表示します
		MIX	ボタンを押す	「MIX」メニューを表示します
		EVENT	ボタンを押す	「EVENT」メニューを表示します
		SETUP	ボタンを押す	「SETUP」メニューを表示します
3	カメラ選択ボタン	CAM1~4	ボタンを押す	使用するカメラを選択します
	STILL メニューボタン	STILL	ボタンを押す	「STILL&CAPTURE」メニューを表示します。
4	出力選択ボタン (上段)	CAM	ボタンを押す	OUT1 にカメラ映像を出力します
		CK K	ボタンを押す	OUT1 に CK KEY 映像を出力します
		CG V	ボタンを押す	OUT1 に CG VIDEO 映像を出力します
		CG K	ボタンを押す	OUT1 に CG KEY 映像を出力します
		MIX V	ボタンを押す	OUT1 に MIX VIDEO 映像を出力します
5	出力選択ボタン (下段)	CAM	ボタンを押す	OUT2 に CAM 映像を出力します
		CK K	ボタンを押す	OUT2 に CK KEY 映像を出力します
		CG V	ボタンを押す	OUT2 に CG VIDEO を出力します
		CG K	ボタンを押す	OUT2 に CG KEY を出力します
		MIX V	ボタンを押す	OUT2 に MIX VIDEO を出力します

## 2-2. 背面パネル



名称	説明
AC IN	AC 電源を入力してください (AC100V-240V 50/60Hz)。
アース端子	安全に使用して頂くために、アースを設置して使用してください。
電源スイッチ	電源スイッチです。「 」側に倒すと電源が入ります。
LAN	Ethernet ポート、MBP-1244/100CK との接続に使用します。 10BASE-T/100BASE-TX、RJ-45
USB	USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器の接続に使用します。 USB2.0 対応、A タイプコネクタ、2 ポート

上記以外のコネクタは使用しません。

## 3. 準備

### 3-1. 電源を入れる

システムの接続後、各機器の電源スイッチを入れます。MBP-12RUは、背面にある電源スイッチを ON にしてください。電源を入れてから約 40 秒ほどで、前面パネルボタンが点灯された後下記のような [TOP 画面] が表示されます。



### 3-2. IP アドレスの設定

まず、MBP-12RU の IP アドレスを設定します。（MU が接続されていない状態でも、NETWORK と RU の設定は可能です。）

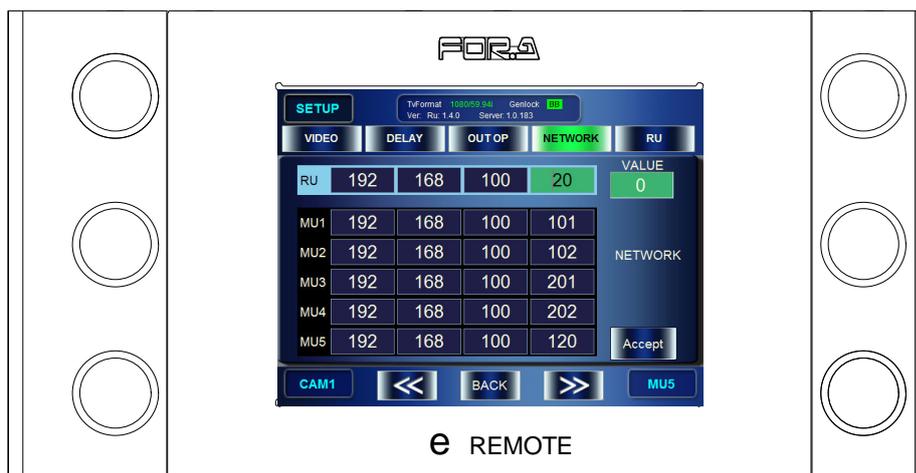
- 1) **SETUP** ボタンを押して、SETUP メニューを表示します。



- 2) **NETWORK** を押して NETWORK メニューを表示します。



- 3) 「NETWORK」メニューでRU（本機）のIPアドレスを設定します。



- ① 左上のつまみを回し、あるいは変更する桁(ボックス)を押して、変更する桁（ボックス）を選択します。（緑背景のボックスが選択箇所になります。）  
\*RUからMU1～5へと上段から、各段左から右へ順番にボックスが選択されます。
  - ② 右上のつまみを回し値を設定値に変更します。
  - ③ 上記①、②の操作をRUのIPアドレス4桁分行います。（MUの設定も同時に行う場合は④の操作の前に4）の操作に移ります。）
  - ④ **ACCEPT** ボタンを押し、変更を決定します。
  - ⑤ “Do you want to change RU IP address?” と表示されますので、**OK** ボタンを押します。
  - ⑥ 自動的にシャットダウンされ処理が実施されますので再度 GUI が自動表示されるまで**何も操作せず**待ってください。GUIが表示されると設定は完了しています。
- \*DHCP サーバーが同じネットワーク上に存在するときは、RU の IP アドレスを “0.\*.\*” に設定すると本機は DHCP で IP アドレス自動取得になります。

- 4) 「NETWORK」メニューで接続するMUのIPアドレスを設定します。

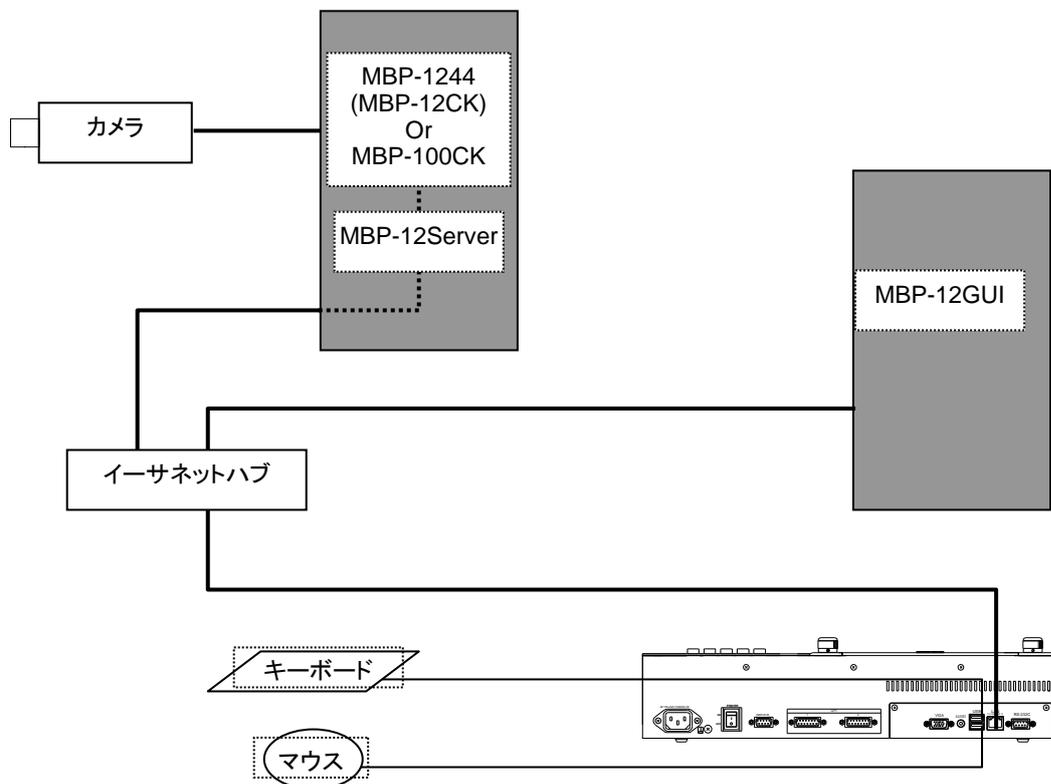
- ① 左上のつまみを回し、あるいは直接登録したいMU番号（MU1～MU5）の変更する桁を押して、ボックスを選択します。（緑背景のボックスが選択箇所になります。）  
\*RUからMU1～5へと上段から、各段左から右へ順番にボックスが選択されます。
- ② 右上のつまみを回し値を設定値に変更します。
- ③ 上記①、②の操作をMUのIPアドレス4桁分行います。
- ④ 複数台のMUを設定する場合は上記①～③を繰り返します。
- ⑤ **ACCEPT** ボタンを押し、変更を決定します。
- ⑥ “Do you want to change MU IP address?” と表示されますので、**OK** ボタンを押します。（RUの設定も変更されている場合は “Do you want to change RU IP address?” と表示されます。）
- ⑦ MUのIPアドレスのみの変更の場合は本GUIが自動的に終了されます。デスクトップ上の “MBP-12RU” アイコンをダブルクリックして本GUIを手動で再起動してください。  
RUのIPアドレスが変更されている場合は自動的にシャットダウンされ処理が実施されますので再度 GUI が自動表示されるまで**何も操作せず**待ってください。どちらの場合も、GUIが表示されると設定は完了しています。

**注意**

RUのIPアドレスを変更した際に行われる自動処理中は、絶対に電源を切らないでください。

### 3-3. 接続

IP アドレスの設定が終了後システムと接続します。MU (MBP-1244 および MBP-12Server がインストールされている PC、もしくは MBP-100CK) との接続は、イーサネットハブを介して行ってください。MBP-1244 取扱説明書を参照してシステムを構築してください。USB メモリ、キーボード、マウスなどの USB 機器をご使用になる場合は、前面パネルに 1 ポート、背面パネルに 2 ポート装備されている USB ポートを使って接続してください。



## 3-4. メニューの操作方法

### 3-4-1. メニュー構成

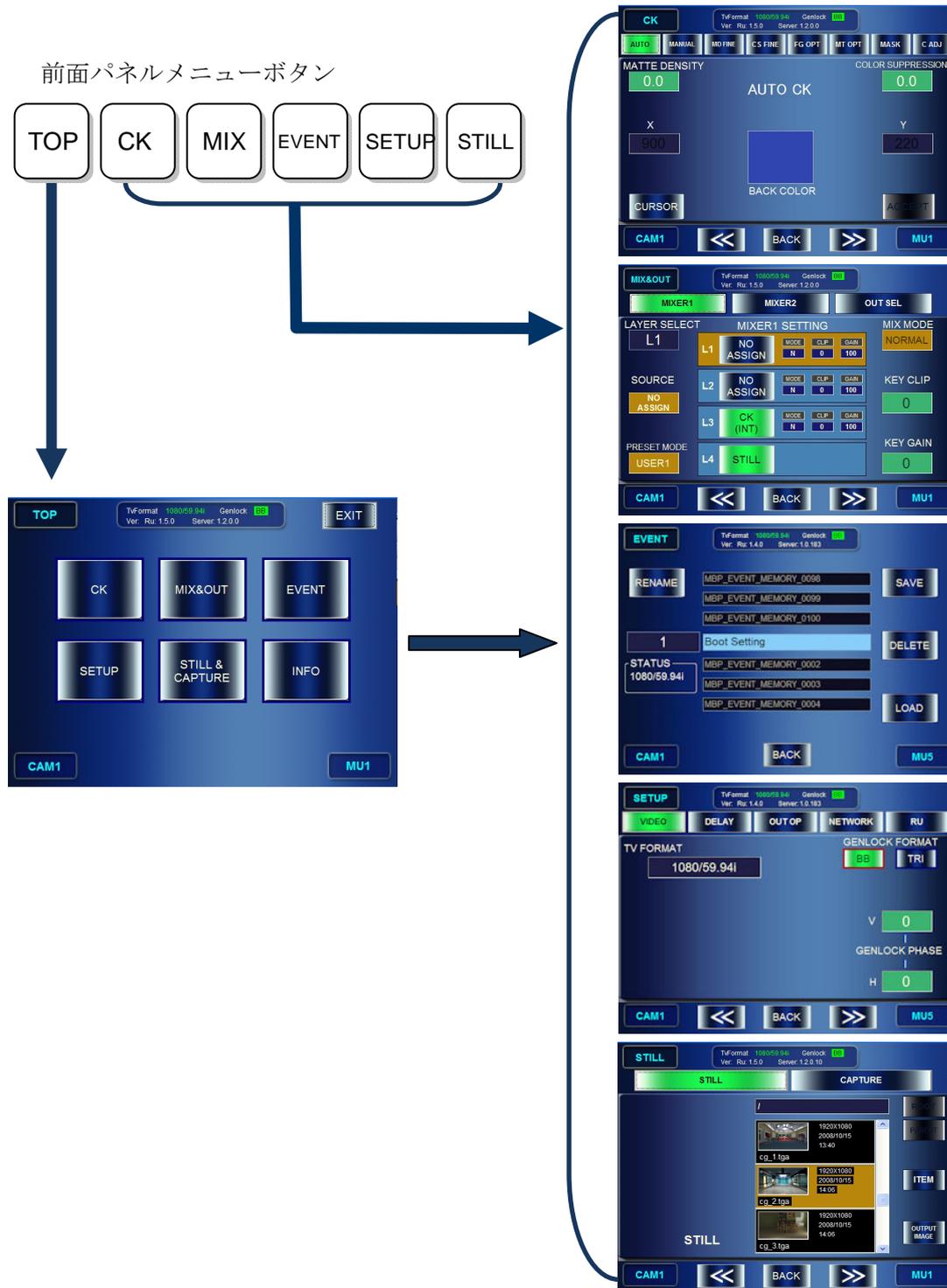
MBP-12RU の GUI のメニュー構成は以下のようになっています。

レベル 1	レベル 2	内容	
TOP	CK	AUTO CK	オートクロマキー操作を行います。
		MANUAL CK	クロマキーのバックカラーをマニュアルで設定します。
		MATTE DENSITY FINE TUNING	バックカラーの微調整を行います。
		COLOR SUPPRESSION FINE TUNING	フォアグラウンド映像のバックカラー色の抑制度合の微調整を行います。
		FG OPTION	フォアグラウンド映像に有効なフィルター等オプションの設定を行います。
		MATTE OPTION	マットカラーに有効なフィルター等のオプションを設定します。
		WINDOW MASK	クロマキーを生成する範囲に矩形形状のマスクを設定します。
		COLOR ADJUST	クロマキー出力信号に対してレベル調整を行います。
	MIX & OUT	MIXER1 SETTING	合成回路 1 の各レイヤの ON/OFF や合成方法等を設定します。
		MIXER2 SETTING	合成回路 2 の各レイヤの ON/OFF や合成方法等を設定します。
		OUTPUT SELECT	OUTPUT1~4 に出力する信号を選択します。
	EVENT	MBP-1244/100CK に保存されているイベントデータの制御を行います。	
	SETUP	VIDEO	TV フォーマット、ゲンロックタイプの選択、ゲンロックフェーズの調整を行います。
		DELAY SETTING	カメラディレイを設定します。
		OUT OPTION	出力毎のクロマキーカーソルの表示/非表示を設定します。
		NETWORK	本機の IP アドレスや、各 MU の IP アドレスを設定します。
		RU SETTING	ディスプレイの明るさや、前面パネルキーのアサインの変更、明るさの変更を行います。
	STILL & CAPTURE	STILL	STILL OUT に出力する映像ファイルを選択するメニューです。
		CAPTURE	カメラ入力映像のキャプチャや保存、または内部カメラ信号の制御を行います。
	INFO	保守用のデータを表示します。	

### 3-4-2. メニュー画面を表示する

MBP-12RU が起動すると TOP メニュー画面が表示されます。TOP メニュー画面のボタンを押して、CK、MIX&OUT、EVENT、SETUP、STILL の各メニュー画面を開きます。前面パネルの **CK**、**MIX**、**EVENT**、**SETUP**、**STILL** の各メニューボタンを押しても、同じメニュー画面を開くことができます。

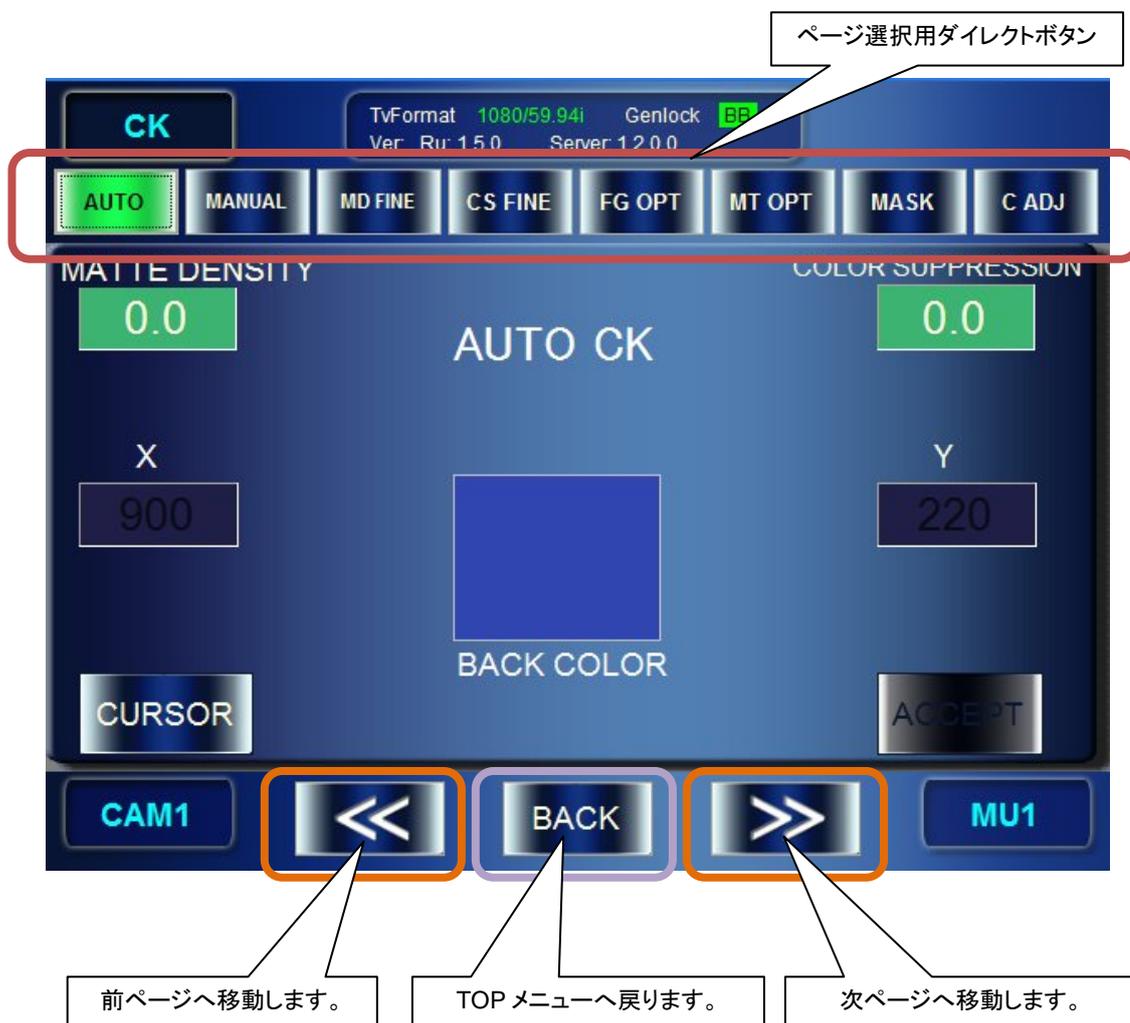
これらのメニュー画面のボタンを押して、さらに下位のメニュー画面を開き（「3-4-1.メニュー構成」のレベル2のメニュー）、MU、RU の設定を行います。



- ※ **INFO** で開く画面には保守用のデータが表示されます。
- ※ **STILL&CAPTURE** ボタンは MBP-100CK に接続時のみ有効になります。

### 3-4-3. メニューの移動

「3-4-1.メニュー構成」のレベル2のメニュー内は幾つかのページに分かれています。各ページの移動は画面下の二重矢印ボタンを押し前後に移動するか、画面上部の各ページへのダイレクトボタンを押すことによって移動します。



- \* BACK ボタンは各レベル2メニューから TOP メニューへ戻ります。
- \* 前面パネルの **TOP**、**CK**、**MIX**、**EVENT**、**SETUP**、**STILL** ボタンはどのメニューにおいてもダイレクトに各メニューへ移動が可能です。

## 3-4-4. 基本操作

---

### 3-4-4-1. GUI 操作

---

本機にはタッチパネル付き液晶が装備されていますので、GUI 上のボタンは液晶パネルにタッチすることにより押すことが可能です。

- 選択ボタンが表示されている場合は、ボタンを押して選択します。選択されているボタン色は緑になります。
- グレーアウトしているボタンは押せません。
- 数値入力ボックスにタッチすると数値入力パネルが表示され、GUI 上の数字ボタンを押すと数値を入力することができます。

### 3-4-4-2. 前面パネルボタン

---

本機の前面パネルにはボタンスイッチが装備されています。

- GUI 上で設定できる機能の一部をダイレクトに操作することが可能です。
- 押すことが可能なボタンは緑色に点灯します。
- 選択項目の場合、選択されているボタン（項目）は橙色に点灯します。
- ボタンへの機能のアサインはカスタマイズ可能です。

### 3-4-4-3. つまみ

---

本機の前面パネルには 6 個のつまみが装備されています。このつまみでは GUI 上の数値の変更や選択項目の変更が可能です。

#### 数値変更の場合

- つまみを回して値を変更します。
- つまみを押すと各値の UNITY 値と VARIABLE 値 (UNITY 値に変更する直前の値) を切替えることが可能です。
- つまみを長く押す (約 2 秒以上) と値の変更幅を COARSE (粗) か FINE (細) に変更することが可能です。

#### 選択項目の変更の場合

- つまみを回して選択対象の項目を変更します。
- つまみを押すことにより選択を決定します。

### 3-4-4-4. 設定例

---

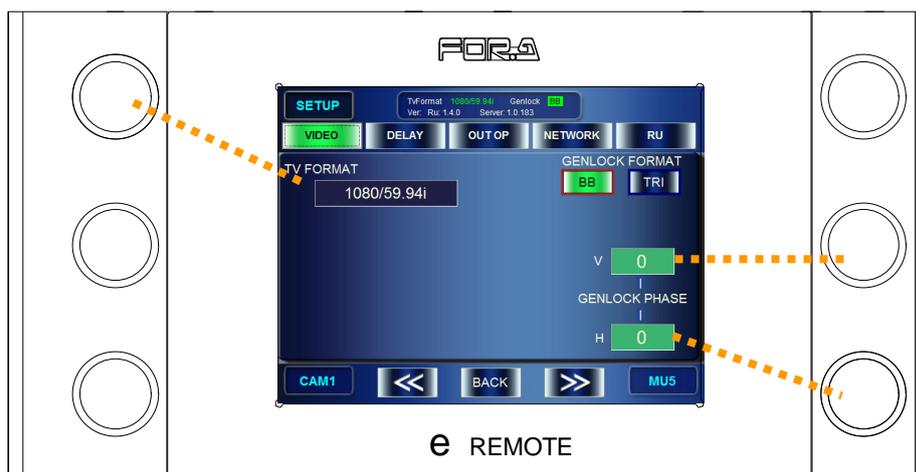
SETUP - VIDEO CONFIG メニューを例にパラメータの設定方法を説明します。

#### TV FORMAT

左上のつまみを押して選択画面を表示します。つまみを回して、TV フォーマットを選択し、つまみを押して確定します。

#### GENLOCK FORMAT

**BB** ボタンまたは **TRI** ボタンを押して、ゲンロックタイプを選択します。選択したボタンが緑に変わります。非同期の場合は緑点滅になります。



### GENLOCK V PHASE

- 右中のつまみを回して値を変更します。
- つまみを押す度に、UNITY 値(0)と VARIABLE 値が切替わります。
- 右中のつまみを長く押して、調整ステップの FINE (微調整、±1) / COARSE (粗調整、±10) を切り換えることができます。FINE 調整時にはボックス背景色が緑になります。COARSE 調整時にはボックス背景色が青になります。

### GENLOCK H PHASE

右下のつまみを使い、GENLOCK V PHASE と同様に操作します。

## 3-5. 電源を切る

終了の際は

- 1) 前面パネル **TOP** ボタンを押し TOP メニューを表示します。
- 2) 画面右上の EXIT ボタンを押します。
- 3) “Do you want to quit this application now?”と表示されますので **OK** を押します。  
\*ここで **CANCEL** を押すと引き続きアプリケーションを操作ができます。
- 4) “Do you want to shutdown now?”と表示されますので **OK** を押します。  
\*ここで **CANCEL** を押すとアプリケーションが終了し WINDOWS 画面になります。
- 5) GUI が終了し、WINDOWS が自動終了しますので画面が白くなるまで待ちます。
- 6) 背面パネルの電源スイッチを切ります。

## 3-6. その他注意事項

- 本機は記録媒体として内部に COMPACT FLASH カードを使用しております。FLASH 内のデータ保護の為に、OS 領域等に書き込み禁止処理を施しています。本機で書き込み（追加、上書きのみ可能。削除はできません。）可能な場所は以下の場所のみとなっています。

C:¥MBP-12RU 以下のファイル、フォルダ

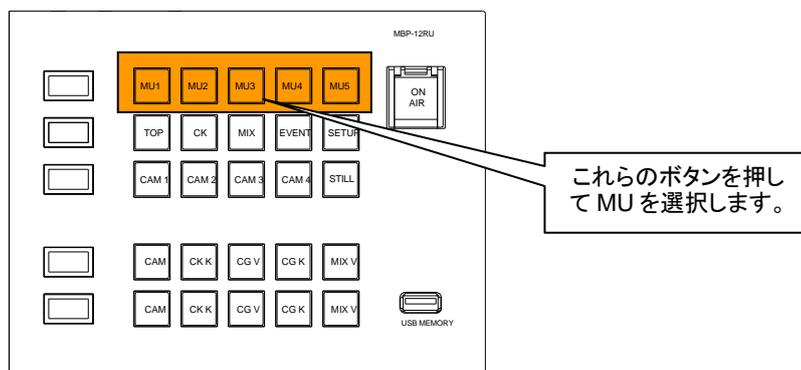
- OS 領域を書き込み禁止にしていますので、OS の設定変更を保存することはできません。

## 4. 操作

この章では簡単に操作の概要を説明します。詳しい説明は「5. メニュー詳細」を参照してください。

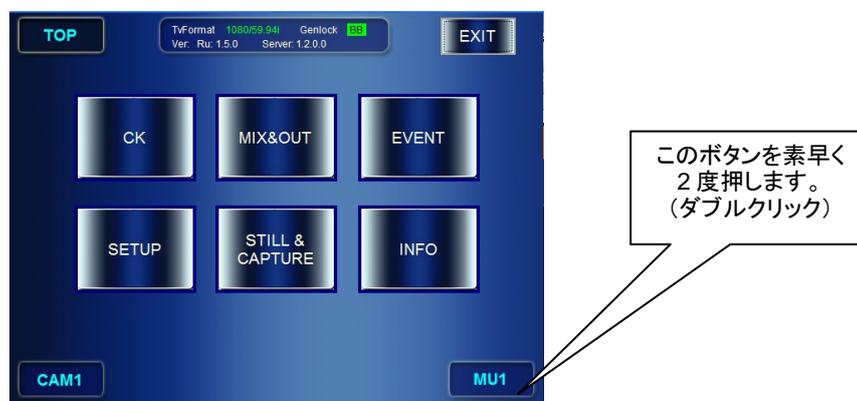
### 4-1. MU を切り換える

#### 4-1-1. 前面パネルのボタンを使う

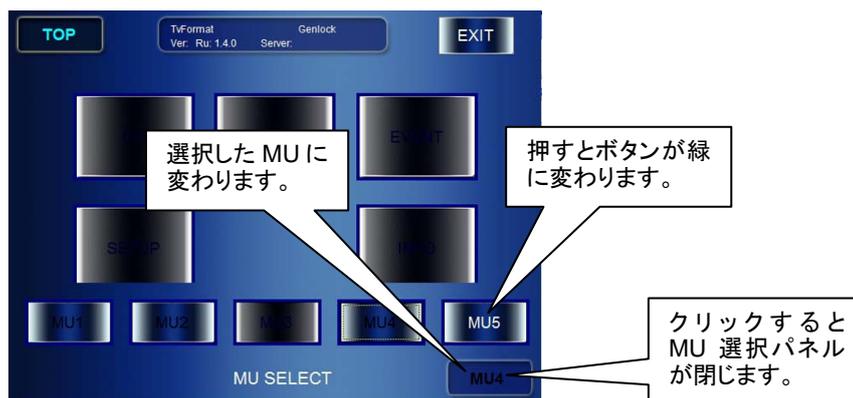


#### 4-1-2. メニューを使う

- 1) 画面下の MU 選択ボタンを押します。



- 2) [MU SELECT]画面が表示されます。選択できる MU は白字で表示されます。選択したい MU のボタンを押します。選択した MU と接続すると、ボタンが緑色に点灯し、画面右下の文字が選択された MU に変わります。



## 4-2. TV フォーマット／ゲンロックタイプを設定する

### 4-2-1. TV フォーマット／ゲンロックタイプの確認

MUに接続すると、動作中のTVフォーマットとゲンロックタイプが、下図のように画面の上に表示されます。ゲンロックタイプ表記は、同期していると緑色に点灯、同期していない場合は点滅します。



### 4-2-2. TV フォーマットを変更する

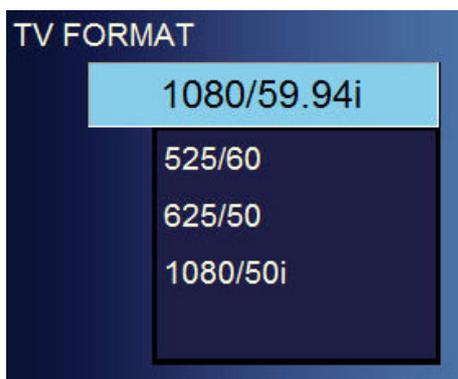
- 1) **SETUP**メニューボタン（またはTOP画面で**SETUP**ボタン）を押します。



- 2) **SETUP**メニュー画面で **VIDEO CONFIG**メニューが表示されていないときは、**VIDEO**ボタンを押します。
- 3) **VIDEO CONFIG**メニュー画面で左上のつまみを押し、**TV FORMAT**選択ダイアログを表示します。



- 4) 左上のつまみを回して TV フォーマットを選択し、左中のつまみを押して確定します。"Do you want to change video format?"とメッセージが表示され、"OK"を選択すると、TV フォーマットが変更されます。



### 4-2-3. ゲンロックタイプを変更する

SETUP - VIDEO CONFIG メニューを表示します。GENLOCK FORMAT エリアで **BB** ボタンまたは **TRI** ボタンを押してゲンロックタイプを変更します。

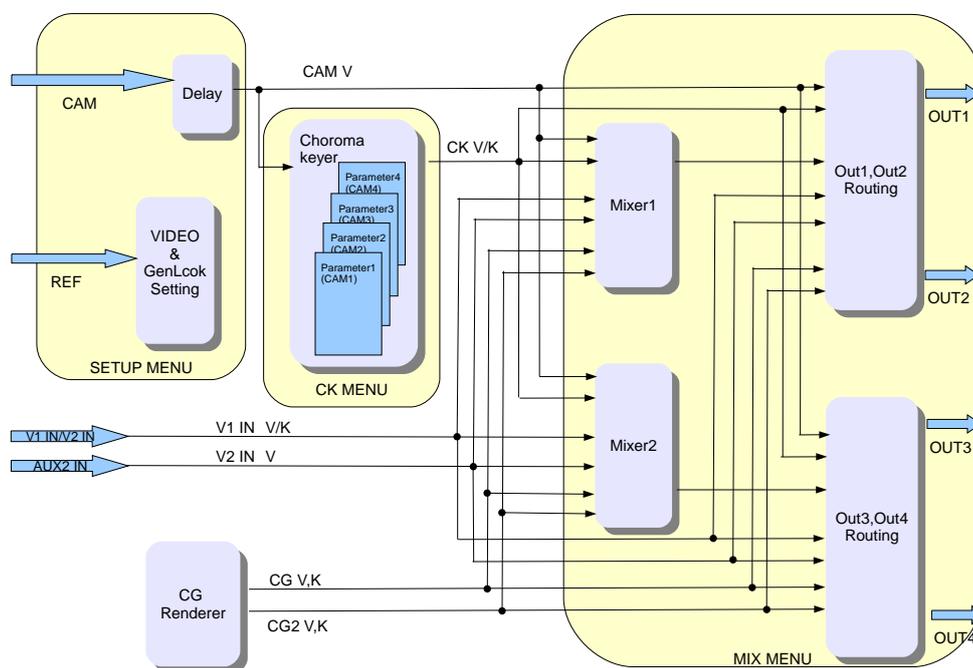


 ゲンロックフェーズを調整する場合は、「3-4-4-4. 設定例」を参照して行ってください。

## 4-3. 出力映像を選択する

### 4-3-1. MBP-1244

MBP-1244 の入出力回路は下図のようになっています。



OUT1、OUT2 から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER1 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER1 合成映像のキー
CAM	カメラ映像
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
CG2 VIDEO	CG2 (Brainstorm により生成される) のビデオ
CG2 KEY	CG2 (Brainstorm により生成される) のキー
V1 IN VIDEO	入力端子 V1 IN に入力されている映像
V1 IN KEY	入力端子 V2 IN に入力されている映像
V2 IN VIDEO	AUX2 入力端子に入力されている映像

OUT3、OUT4 から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER2 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER2 合成映像のキー
CAM	カメラ映像
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
CG2 VIDEO	CG2 (Brainstorm により生成される) のビデオ
CG2 KEY	CG2 (Brainstorm により生成される) のキー
V1 IN VIDEO	入力端子 V1 IN に入力されている映像
V1 IN KEY	入力端子 V2 IN に入力されている映像
V2 IN VIDEO	AUX2 入力端子に入力されている映像

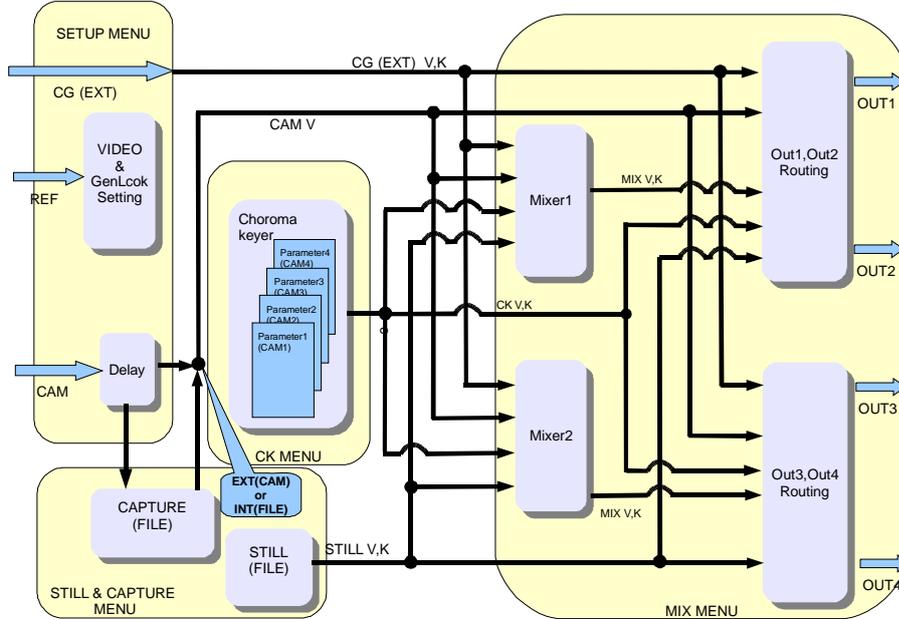
次ページに注意書

**注意**

MBP-1244にはMIXER1とMIXER2の2系統の映像合成回路があります。MIXER1の合成映像はOUT1、OUT2から出力できます。MIXER2の合成映像はOUT3、OUT4から出力できます。CG2 V/K、V1 IN V/K、V2 IN Vの映像はMBP-100CKに接続時は利用できません。

### 4-3-2. MBP-100CK

MBP-100CKの入出力回路は下図のようになっています。



OUT1、OUT2から出力できる映像は次のとおりです。

MIX VIDEO	MIXER1 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER1 合成映像のキー
CAM(EXT or INT)	カメラ映像 STILL&CAPTUREメニュー内のINT/EXT切り替えにより外部入力映像 (EXT) か FILE 映像 (INT) に切り替わります。
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
STILL VIDEO	内部生成静止画のビデオ映像
STILL KEY	内部生成静止画のキー映像

OUT3、OUT4から出力できる映像は次のとおりです。

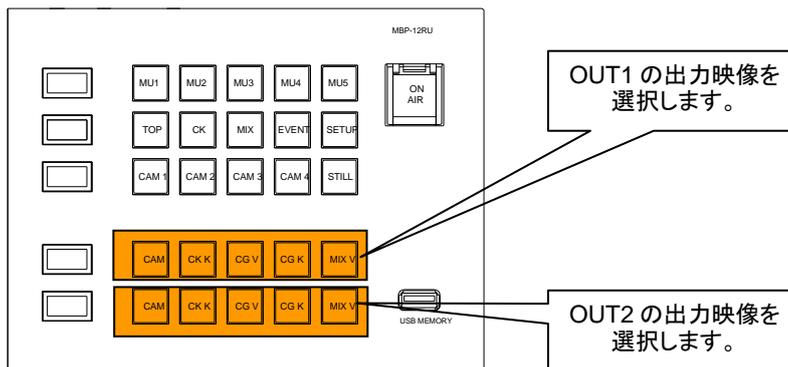
MIX VIDEO	MIXER2 合成映像のビデオ
MIX KEY	MIXER2 合成映像のキー
CAM (EXT or INT)	カメラ映像 STILL&CAPTUREメニュー内のINT/EXT切り替えにより外部入力映像 (EXT) か FILE 映像 (INT) に切り替わります。
CG VIDEO	CG のビデオ
CG KEY	CG のキー
CK VIDEO	クロマキーのビデオ
CK KEY	クロマキーのキー
STILL VIDEO	内部生成静止画のビデオ映像
STILL KEY	内部生成静止画のキー映像

**注意**

MBP-100CK には MIXER1 と MIXER2 の 2 系統の映像合成回路があります。MIXER1 の合成映像は OUT1、OUT2 から出力できます。MIXER2 の合成映像は OUT3、OUT4 から出力できます。STILL VIDEO、STILL KEY 信号は MBP-100CK に接続時のみ選択可能です。

### 4-3-3. 前面パネルのボタンを使う

前面パネルの出力選択ボタンを押して、OUT1 および OUT2 の出力映像を選択することができます。



OUT1	CAM	OUT1 に CAM 映像を出力
	CK K	OUT1 に CK KEY 映像を出力
	CG V	OUT1 に CG VIDEO 映像を出力
	CG K	OUT1 に CG KEY 映像を出力
	MIX V	OUT1 に MIX VIDEO 映像を出力
OUT2	CAM	OUT2 に CAM 映像を出力
	CK K	OUT2 に CK KEY 映像を出力
	CG V	OUT2 に CG VIDEO を出力
	CG K	OUT2 に CG KEY を出力
	MIX V	OUT2 に MIX VIDEO を出力

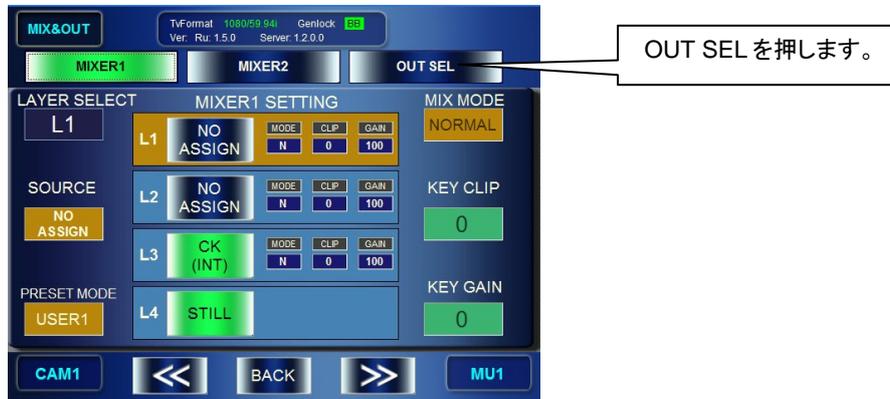
**注意**

標準アサインでは、前面パネルで OUT3、OUT4 の出力選択はできません。メニューから選択してください。

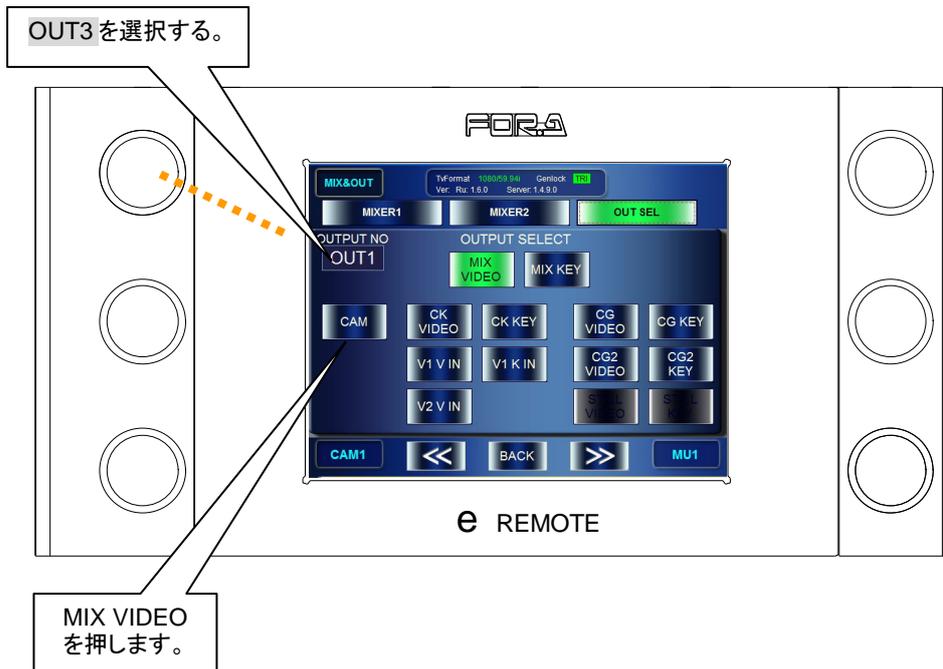
## 4-3-4. メニューを使う

ここでは、OUT3に MIX VIDEO を出力する場合を例に、操作方法を説明します。

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して MIX メニュー画面を表示します。
- 2) MIX メニュー画面で **OUTPUT SELECT** 画面が表示されていない場合は、**OUT SEL** ボタンを押します。



- 3) **OUTPUT SELECT** メニュー画面が開きます。
- 4) 左上のつまみを回して **OUT3** を選択します。
- 5) **MIX VIDEO** を押します。



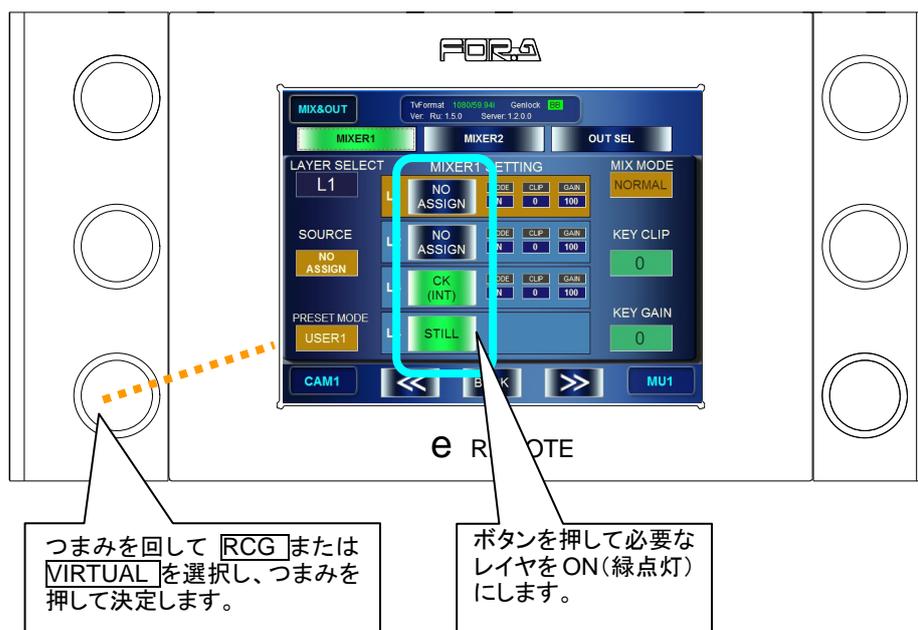
## 4-4. 合成映像のレイヤを設定する

MBP-1244/100CK には MIXER1 と MIXER2 の 2 系統の映像合成回路があります。MIXER1 の合成映像は OUT1、OUT2 から出力できます。MIXER2 の合成映像は OUT3、OUT4 から出力できます。

合成回路はそれぞれ 4 つのレイヤ（上から順に L1、L2、L3、L4）で構成されています。レイヤの構成は本機がデフォルトで持っている RCG モード、バーチャルモードの 2 つの変更不可なレイヤプリセットモードと、ユーザがレイヤ構成を自由にカスタマイズ可能なレイヤユーザモードの 3 つを持っています。

### 4-4-1. MIXER1 の合成レイヤを RCG または VIRTUAL モードにする

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して MIX メニュー画面を表示します。
- 2) MIX メニュー画面で **MIXER1** ボタンを押します。
- 3) 左下のつまみを回して PRESET MODE ボックスを **VIRTUAL** または **RCG** とし、左下のつまみを押して選択を決定します。決定すると PRESET MODE ボックスの背景色が橙色になります。（現在選択されている PRESET MODE を橙色背景で表示）
- 4) 合成したいレイヤのレイヤボタンを押して ON にします（緑点灯させる）。



プリセットモード時のレイヤ設定は下表のようになります。

プリセットモード	L1	L2	L3	L4
Virtual	NO ASSIGN	CG 映像 *1 (マスク、前景オブジェクト)	クロマキー映像	CG 映像 *1 (背景オブジェクト)
RCG	CG 映像 *2 (マスク、前景オブジェクト)	クロマキー映像	CG 映像 *2 (挟み込みオブジェクト)	カメラ映像

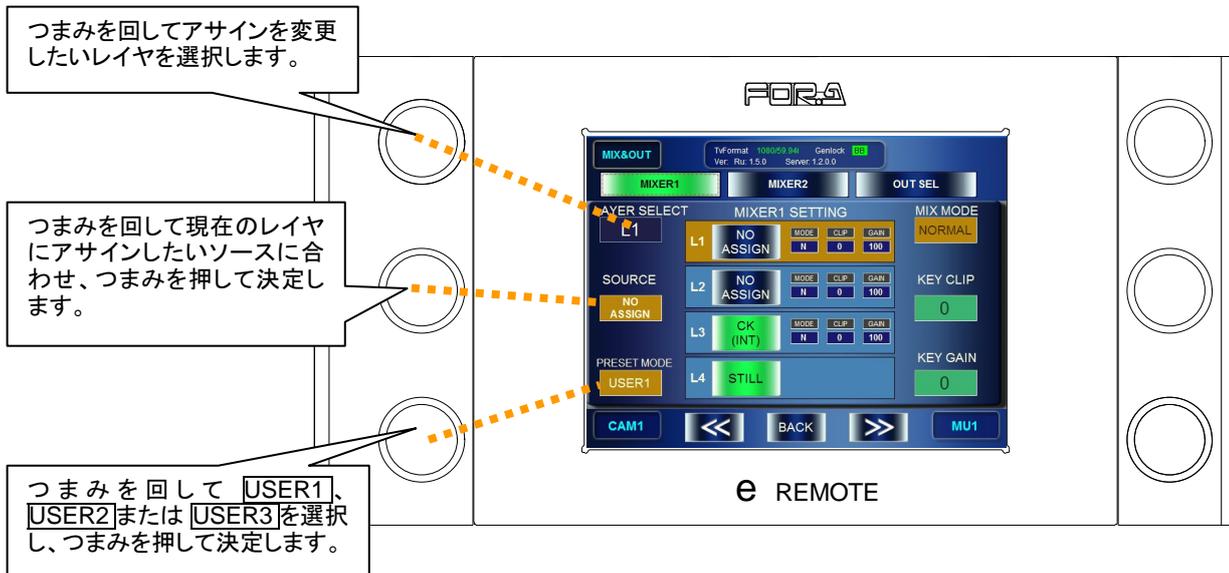
\*1 L2、L4 とも同じ映像を使用します。

\*2 L1、L3 とも同じ映像を使用します。

## 4-4-2. MIXER1 のレイヤ構成を自由にアサインする

MBP が持つレイヤユーザモードを使用すると、ユーザは各レイヤアサインを自由に変更することができます。3組のユーザモードが設定可能です。(USER1~USER3) また、ユーザモードは EVENT に保存することができます。

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して MIX メニュー画面を表示します。
- 2) MIX メニュー画面で **MIXER1** ボタンを押します。
- 3) 左下のつまみを回して PRESET MODE ボックスを **USER1**、**USER2** または、**USER3** のうち変更したいモードに合わせ、左下のつまみを押して選択を決定します。決定すると PRESET MODE ボックスの背景色が橙色になります。(現在選択されている PRESET MODE を橙色背景で表示)
- 4) 左上のつまみを回してアサインを変更したいレイヤを L1~L4 中から選択します。
- 5) 左中のつまみを回してレイヤにアサインするソース映像を選択し、左中つまみを押して選択を決定します。決定すると SOURCE ボックスの背景色が橙色になります。(現在選択されているソース映像を橙色背景で表示)
- 6) 合成したいレイヤのレイヤボタンを押して ON にします。



アサイン可能なソースは下表のようになります。

ソース名	説明
NO ASSIGN	信号をアサインしません。(BLACK映像になります。)
CAM (INT/EXT)	カメラ信号です。 MBP-1244に接続している場合は、CAM端子入力信号(EXT)です。 MBP-100CKに接続している場合は、4.6.2のCK素材の切替えにより、CAM端子入力信号(EXT)と、静止画の内部生成信号(INT)が切替わります。
CK (INT/EXT)	クロマキー信号です。 MBP-1244に接続している場合は、CAM端子入力によるCK信号(EXT)です。 MBP-100CKに接続している場合は、4.6.2のCK素材の切替えによりCAM端子入力信号によるCK信号(EXT)と、内部生成の静止画によるCK信号(INT)が切替わります。 この信号はクロマキーオプションMBP-12CKが装着されていない場合は選択できません。
CG (INT/EXT)	CG信号です。 MBP-1244に接続している場合は、Brainstormによる内部生成CG(INT)です。 MBP-100CKに接続している場合は、CG(V/K)INPUT端子入力信号(EXT)です。
STILL	内部生成された静止画CG信号です。 MBP-100CKに接続している時のみ使用可能となります。
CG2	CG信号の2系統目です。Brainstormにより生成されます。
V1 IN	入力端子V1 IN/V2 INに入力される信号(V/K)をアサインします。
V2 IN	入力端子AUX2に入力される信号をアサインします。 V2はビデオ信号のみの信号として内部処理されます。

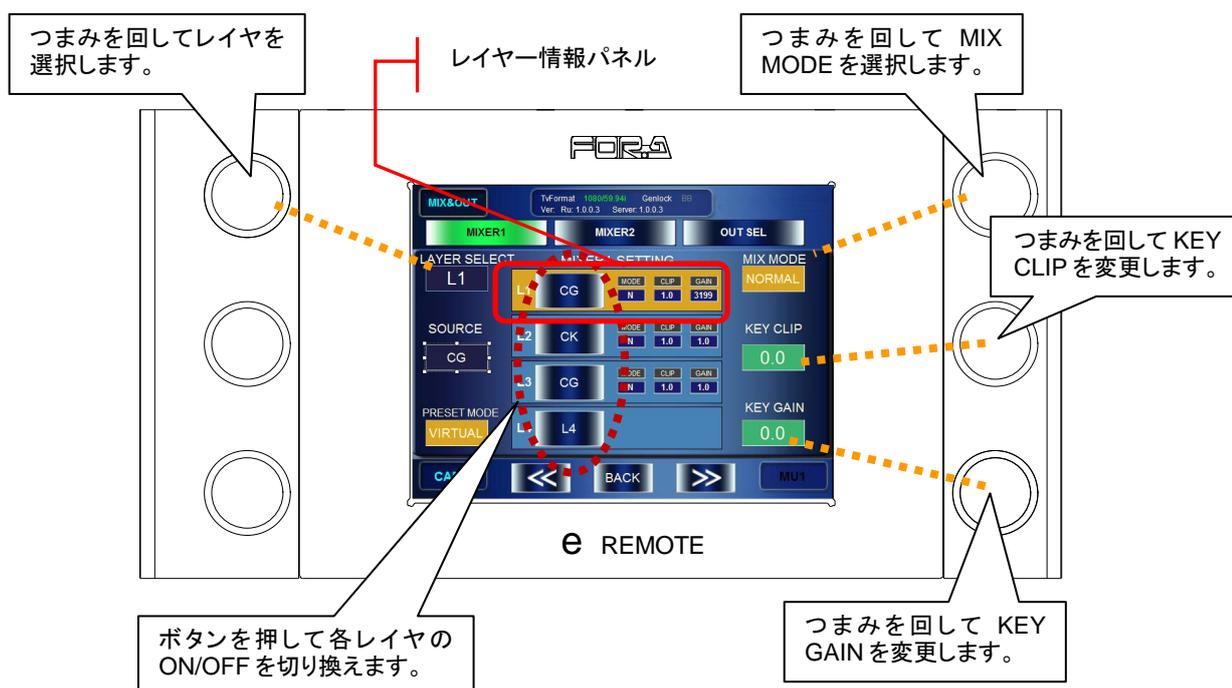
※ CG2、V1、V2はMBP-100CK接続時には無効となります。

### 4-4-3. MIXER1 の各レイヤの合成状態を変更する

- 1) 前面パネルの **MIX** ボタンを押して MIX メニュー画面を表示します。
- 2) MIX メニュー画面で **MIXER1** ボタンを押し、MIXER1 SETTING メニュー画面を開きます。
- 3) L1、L2、L3、L4 のレイヤボタンをそれぞれ押して表示／非表示（ON/OFF）を切替えます。ボタンが緑のときは表示、ボタンが青のときは非表示になります。

合成の際に、MIX MODE、KEY CLIP、KEY GAIN の値を変更したいときは操作するレイヤを選択した上で各パラメータを変更します。

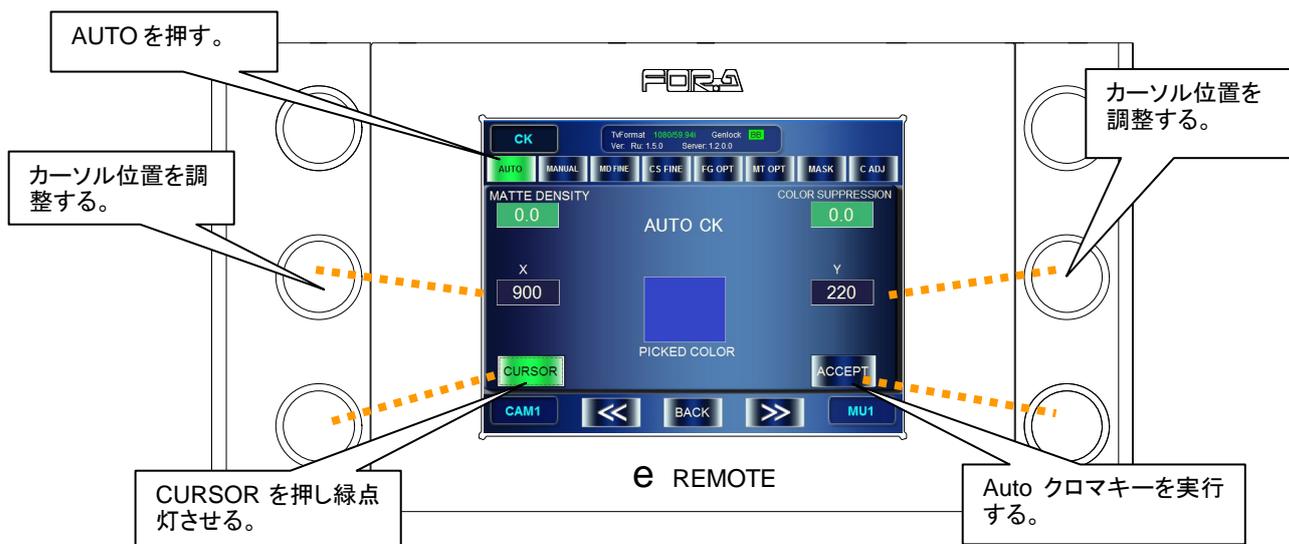
- 4) 左上のつまみを回して操作したいレイヤを選択します。L1、L2、L3、のレイヤ情報パネルのうち背景が橙色になっているパネルが現在選択されているレイヤとなります。（L4 に対しては MIX MODE 等の合成パラメータを設定することはできません）
- 5) 選択したレイヤとその下のレイヤの合成状態を操作します。
  - 右上のつまみを回してレイヤの合成方法（ADD,NORMAL）を選択し、つまみを押して決定します。決定すると MIX MODE ボックスの背景色が橙色に変わります。
  - 右中のつまみを回して合成の際のキークリップレベルを変更します。
  - 右下のつまみを回して合成の際のキーゲインレベルを変更します



## 4-5. クロマキー映像を作成する (MBP-12CK or MBP-100CK)

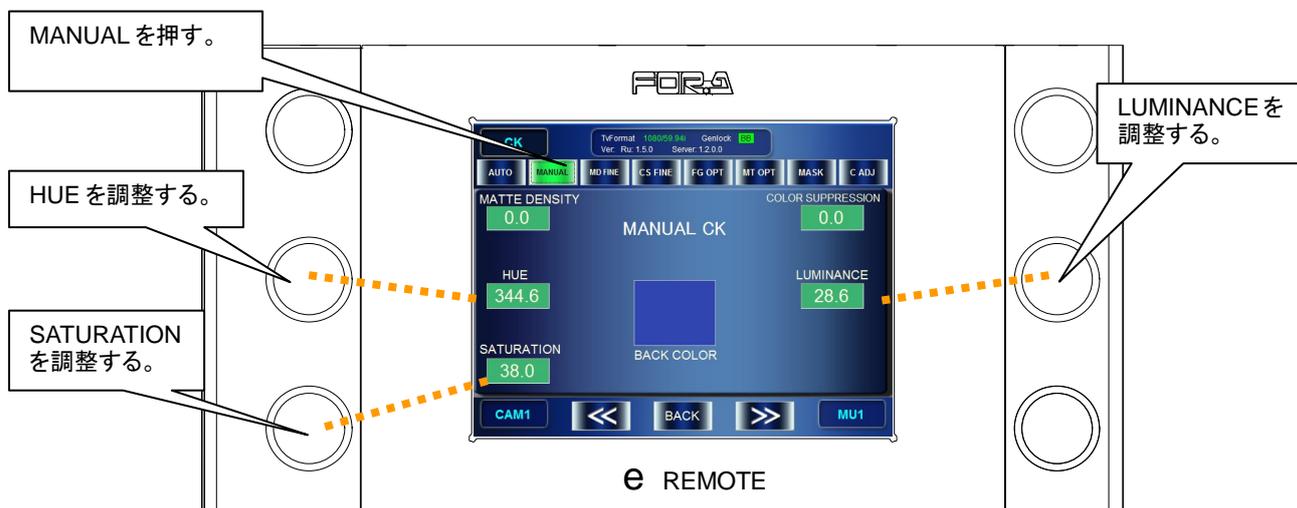
### 4-5-1. オートクロマキー

- 1) 前面パネルの **CK** ボタンを押して CK メニューを表示します。
- 2) CK メニュー画面で AUTO CK メニューが表示されていない場合は GUI 上 **AUTO** ボタンを押して AUTO CK メニューを表示します。
- 3) 左下のつまみを押す、または GUI 上で **CURSOR** ボタンを押して出力映像にクロマキーカーソルを表示します。(CURSOR ボタンが緑になります。)
- 4) 左中のつまみ、および右中のつまみを回し、出力画面上で抜きたい色の箇所にクロマキーカーソルの十字交差点を移動します。
- 5) 右下のつまみを押す、または **ACCEPT** ボタンを押して決定します。(クロマキーカーソルは自動で非表示になります。)



### 4-5-2. マニュアルクロマキー

- 1) 前面パネルの **CK** ボタンを押して CK メニューを表示します。
- 2) CK メニュー画面で MANUAL CK メニューが表示されていない場合は GUI 上 **MANUAL** ボタンを押して MANUAL CK メニューを表示します。
- 3) 左中、左下、右中のつまみそれぞれで、クロマキーで抜きたい色の “HUE”、“SATURATION”、“LUMINANCE” を指定します。指定された色は GUI 中の BACK COLOR と表記された文字の上のボックスに表示されます。



## 4-6. カメラ映像を静止画としてキャプチャする (MBP-100CK)

MBP-100CKはCAM端子入力信号をキャプチャし、MBP-100CK内のキャプチャ画像専用のディレクトリに静止画ファイルとして保存することが可能です。また静止画ファイルをカメラ映像の代わりとすることも可能です。

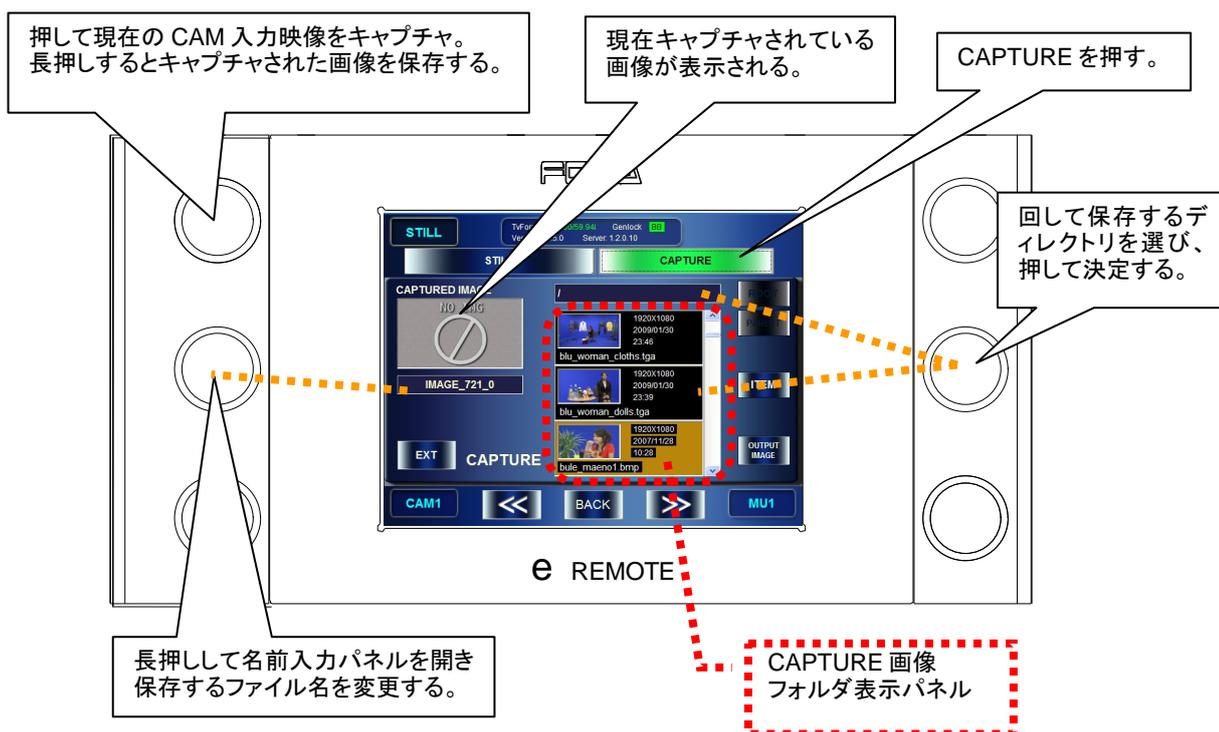
 MBP-12RUにはディレクトリの作成や削除、またキャプチャ済みのファイルの削除や名前変更などの管理機能はありません。管理する場合はMBP-100CKにプレインストールされているMBP-12GUIを使用してください。

### 4-6-1. カメラ映像をキャプチャする

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して **STILL&CAPTURE** メニュー画面を表示します。
- 2) **STILL&CAPTURE** メニュー画面で **CAPTURE** ボタンを押し、**CAPTURE** 画面を開きます。
- 3) **CAPTURE** 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみや GUI 上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、キャプチャした画像を保存するディレクトリを選択します。
- 4) 左上のつまみを押し、CAM入力映像をキャプチャします。**CAPTURED IMAGE** にキャプチャした静止画像が表示されます。キャプチャをやり直す場合は再度、左上のつまみを押します。(静止画像が更新されます)
- 5) 左中のつまみを長く押し、文字列入力パネルを開いて保存するファイル名を決定します。

 文字の入力方法は「5-8-1. 文字列入力パネル」を参考にしてください。

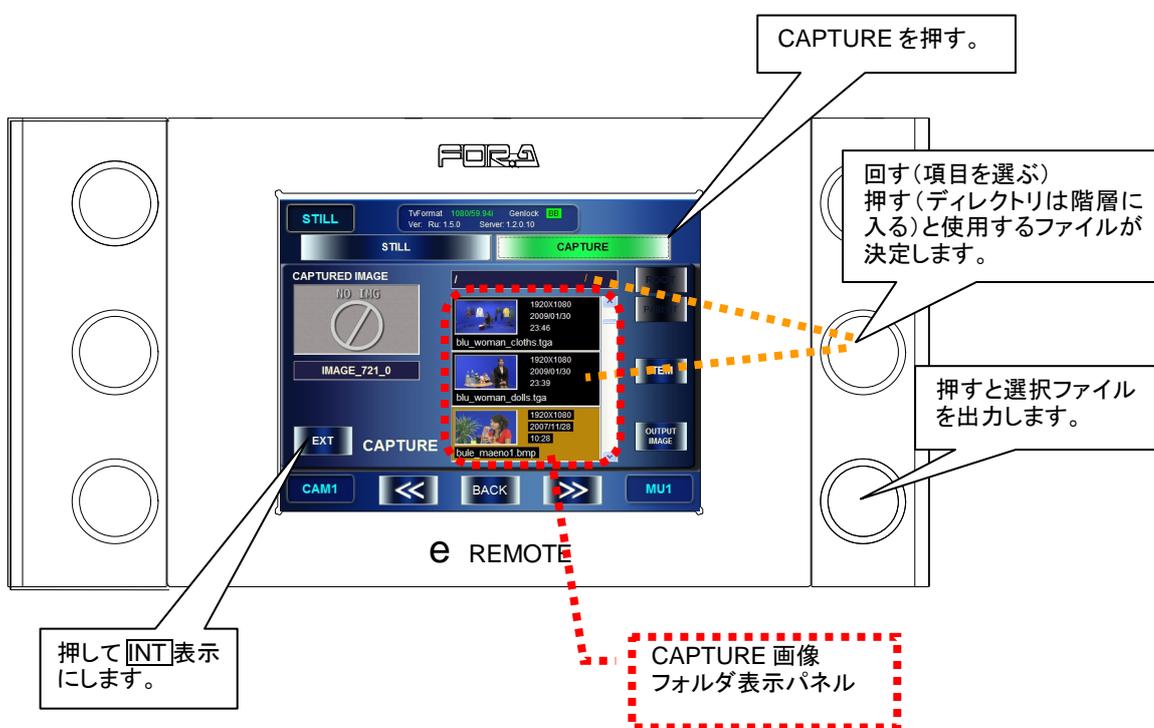
- 6) 左上のつまみを長く押すと現在選択されているディレクトリに 5)で決定したファイル名(拡張子は自動的に TGA となる)で保存されます。同一名のファイルが存在する場合は"Cannot save. The file name is already in use"とメッセージが出力され、保存がキャンセルされます。



## 4-6-2. キャプチャした画像をクロマキー素材として使用する

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して STILL&CAPTURE メニュー画面を表示します。
- 2) STILL&CAPTURE メニュー画面で **CAPTURE** ボタンを押し、CAPTURE 画面を開きます。
- 3) GUI 上の左下 **INT/EXT** ボタンを押して、**INT** ボタンが表示されるようにし、内部生成された画像をクロマキーの素材とする **内部クロマキーモード** とします。
- 4) CAPTURE 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみや GUI 上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、使用したいファイル画像が保存されているディレクトリを選択します。
- 5) 右下のつまみを押し、内部クロマキー素材として使用したい画像を決定します。  
"Do you want to output this picture?"と表示されるので、"OK"を押して出力を決定します。決定されるとクロマキー素材映像が選択したファイルの画像になります。  
(同時に 4.3.2 の CAM 出力も同映像になります)

➡ 現在クロマキー素材として出力されている映像は実際の出力映像で確認してください。



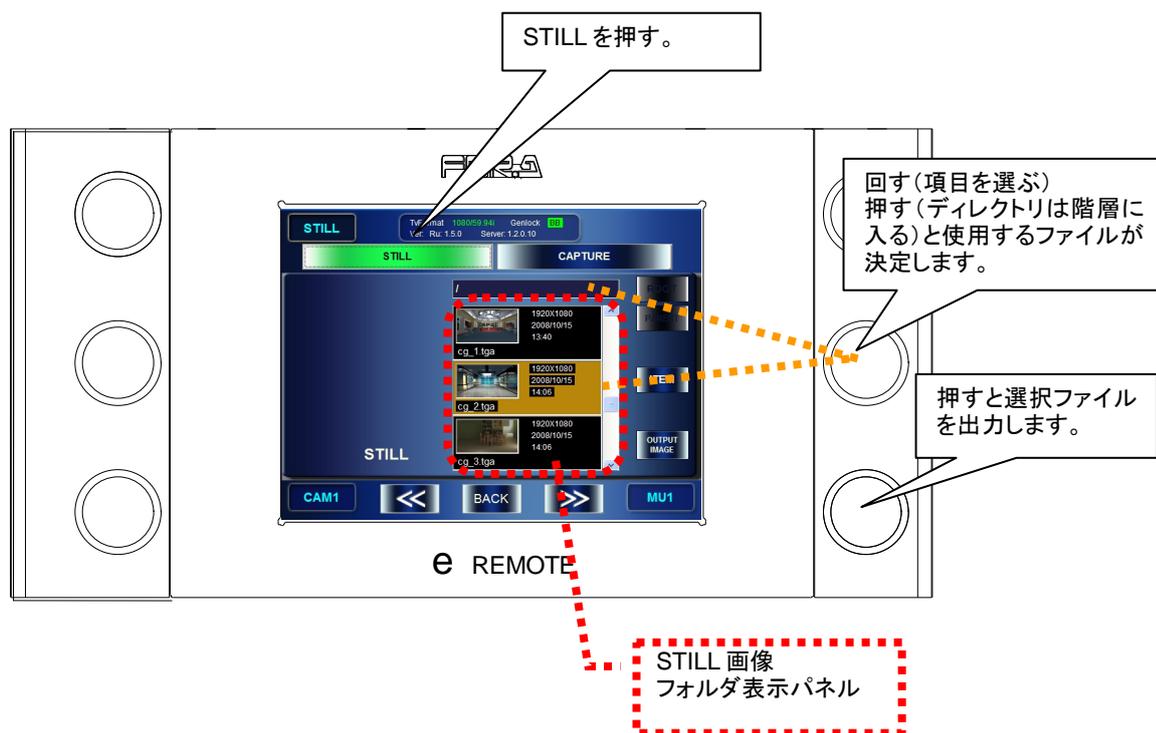
## 4-7. 静止画ファイルを STILL として使用する (MBP-100CK)

MBP-100CK は MBP-100CK 内の専用ディレクトリに保存されている静止画像ファイルをレイヤ素材として使用することが可能です。

☞ MBP-12RU には指定ディレクトリの作成や削除、静止画像の追加、削除、名前変更などの管理機能はありません。管理する場合は MBP-100CK にプレインストールされている MBP-12GUI を使用してください。

- 1) 前面パネルの **STILL** ボタンを押して **STILL&CAPTURE** メニュー画面を表示します。
- 2) **STILL&CAPTURE** メニュー画面で **STILL** ボタンを押し、**STILL** 画面を開きます。
- 3) **STILL** 画像ディレクトリ表示パネル上で、右中のつまみや GUI 上の **ROOT**、**PARENT** ボタンを操作し、使用したいファイル画像が保存されているディレクトリを選択します。
- 4) 右下のつまみを押し、**STILL** 画像として使用したい画像を決定します。"Do you want to output this picture?"と表示されるので、"OK"を押して出力を決定します。決定されると **STILL** 出力映像が選択したファイルの画像になります。

☞ 現在 **STILL** 素材として出力されている映像は実際の出力映像で確認してください。



## 4-8. イベントを使う

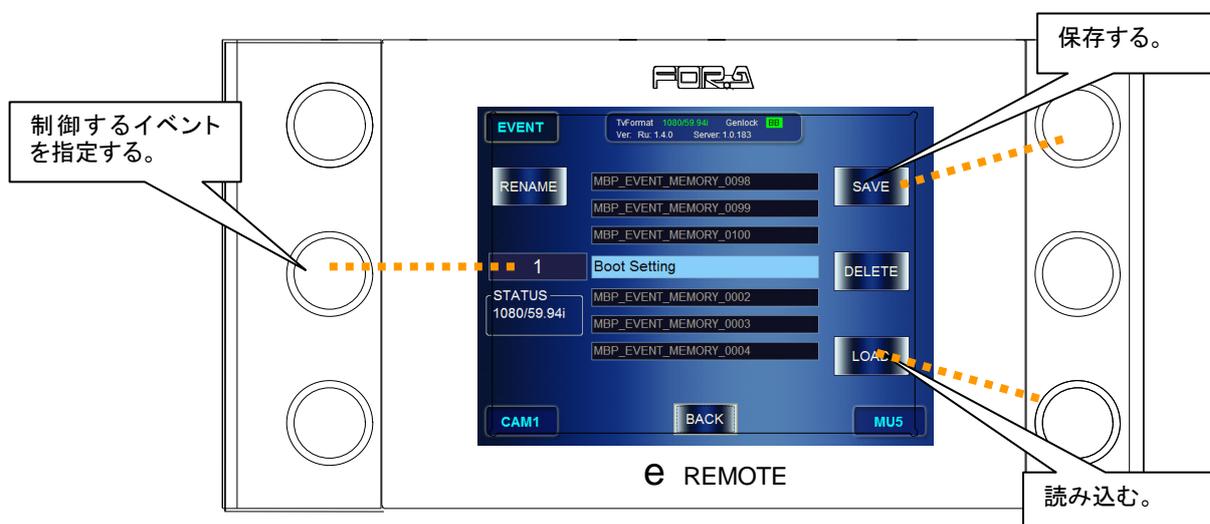
MBP-1244/100CKは自身の設定データ全てをイベントとして保存することが可能です。  
MBP-12RUはそのイベントに対し、保存、読み出し、削除、名前の変更が可能です。

### 4-8-1. イベントを保存する

- 1) 前面パネルの **EVENT** ボタンを押して EVENT メニューを表示します。
- 2) 左中のつまみを回し保存したいイベント番号を選択します。  
(左中のつまみを回すと GUI 中央のリストが上下します。リスト上、黒背景で名前表示されているイベントは未保存です。)
- 3) 右上のつまみを押すか GUI 上の **SAVE** ボタンを押すと “Do you want to save EVENT No\*?” と表示され、**OK** ボタンを押すと保存されます。  
(既に保存されているイベントを選択した場合はデータが上書きされます。)

### 4-8-2. イベントを読み込む

- 1) 前面パネルの **EVENT** ボタンを押して EVENT メニューを表示します。
- 2) 左中のつまみを回し読み込みたいイベント番号を選択します。  
(保存されていないイベントを選択したときは GUI 上の **LOAD** ボタンはグレイアウトし読み込みが行えません。)
- 3) 右下のつまみを押すか、GUI 上の **LOAD** ボタンを押すと “Do you want to load EVENT No\*?” と表示され、**OK** ボタンを押すと読み込みが実行され、各パラメータに読み込んだイベントデータに保存されていたものに変更されます。



## 4-9. 操作禁止処理

MBP-12RU では接続している MBP-1244/100CK が映像送出中等の際に、誤操作を防ぐ為に操作禁止機能が実装されています。MBP-12RU では以下の 3 種類の操作禁止が可能です。

表 1：各ロック機能の動作

ロック機能	MBP-1244/100CK の制御		ロック解除	
	ロックをかけたクライアント	左記以外のクライアント	ロックをかけたクライアント	左記以外のクライアント
On Air ロック (標準機能)	MBP-1244/100CK の操作は禁止されます。各設定の閲覧と RU 自身の設定変更は可能です。	同左	前面パネル <b>ON AIR</b> ボタン長押しでロック解除可能	<b>ON AIR</b> ボタン長押し時、パスワード入力によりロック解除可能
Exclusive ロック	通常操作が可能です。	MBP-1244/100CK の操作は禁止されます。各設定の閲覧と RU 自身の設定変更は可能です。	前面パネル <b>EX LOCK</b> ボタン長押しでロック解除可能	<b>EX LOCK</b> ボタン長押し時パスワード入力によりロック解除可能
Operation ロック	RU 上で Operation Lock 解除以外の全ての操作は禁止されます。	通常操作が可能です。	前面パネル <b>OP LOCK</b> ボタン長押しでロック解除可能	ロック解除不可

\*クライアントとは MBP-1244/100CK に接続されている MBP-12RU、MBP-12GUI を指します。

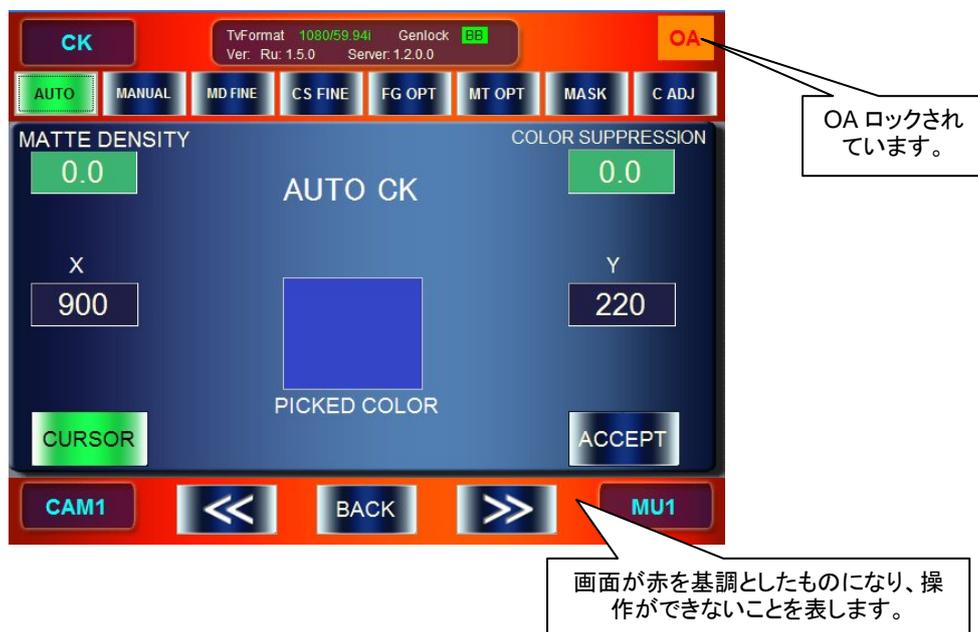
### 4-9-1. On Air ロック（標準機能）

接続している MBP-1244/100CK において、ロックを有効にしたクライアントを含む全てのクライアントからの制御を禁止（ロック）します。本ロック機能を有効にする場合は、前面パネルボタンの標準アサインボタンの中にある **ON AIR** のボタンを使用します。

#### On Air ロックを有効にする

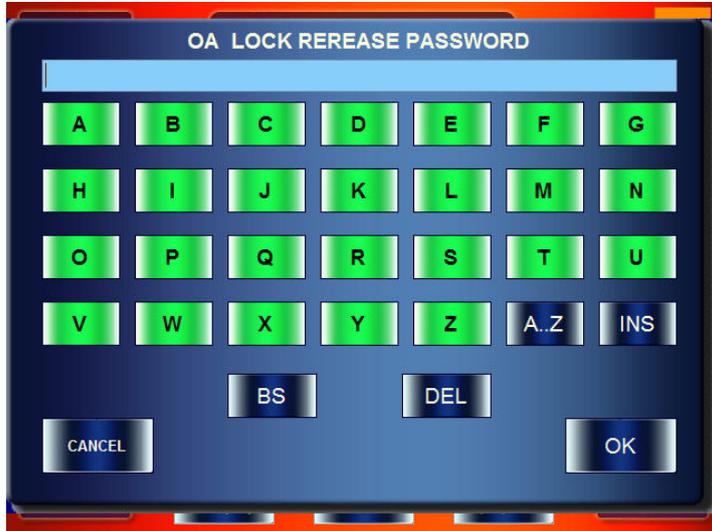
- 1) On Air ロックをかけたい MBP-1244/100CK を、前面パネル MU ボタンを使用して選択します。
- 2) 前面パネルの **ON AIR** ボタンを押します。

On Air ロックが有効になると RU の画面は以下のように赤を基調とした画面に変わります。（自分以外のクライアントがロックをかけた場合も同様な画面となります。）



## On Air ロックを解除する

- 1) **ON AIR** ボタンを長く押しします。  
On Air ロックを有効化したのが自分自身の場合はここでロックは解除され、通常画面に戻ります。有効化したのが自分以外の場合は以下に進みます。
- 2) パスワード入力画面が表示されますので、MBP-1244/100CK 側で設定されているパスワードを入力します。



 文字の入力方法は「5-8-1. 文字列入力パネル」を参考にしてください。  
(ただし入力文字は“\*”で隠されます。)

- 3) パスワード入力成功するとロックは解除され通常操作が可能になります。

## 4-9-2. Exclusive ロック

接続している MBP-1244/100CK において、ロックを有効にしたクライアント以外<sup>①</sup>の全てのクライアントからの制御を禁止（ロック）します。

**注意** 本ロック機能は前面パネルボタンが標準アサイン状態では制御できません。  
アサインを変更し、**EX LOCK** ボタンをアサインする必要があります。

Exclusive ロックはロックを有効にしたクライアントとそれ以外のクライアントでは動作が変わります。

### 4-9-2-1. 自分自身がロックを有効にしたとき

#### Exclusive ロックを有効にする

- 1) Exclusive ロックをかけたい MBP-1244/100CK を、MU ボタンを使用して選択します。
- 2) 前面パネルの **EX LOCK** ボタンを押します。  
Exclusive ロックが有効になると RU の画面右上 (TOP メニューは中央下) に緑背景で **EX** の文字が表示されます。ロックかけた自分は通常通り MBP-1244/100CK を制御可能ですが、自分以外のクライアントは制御不能になります。

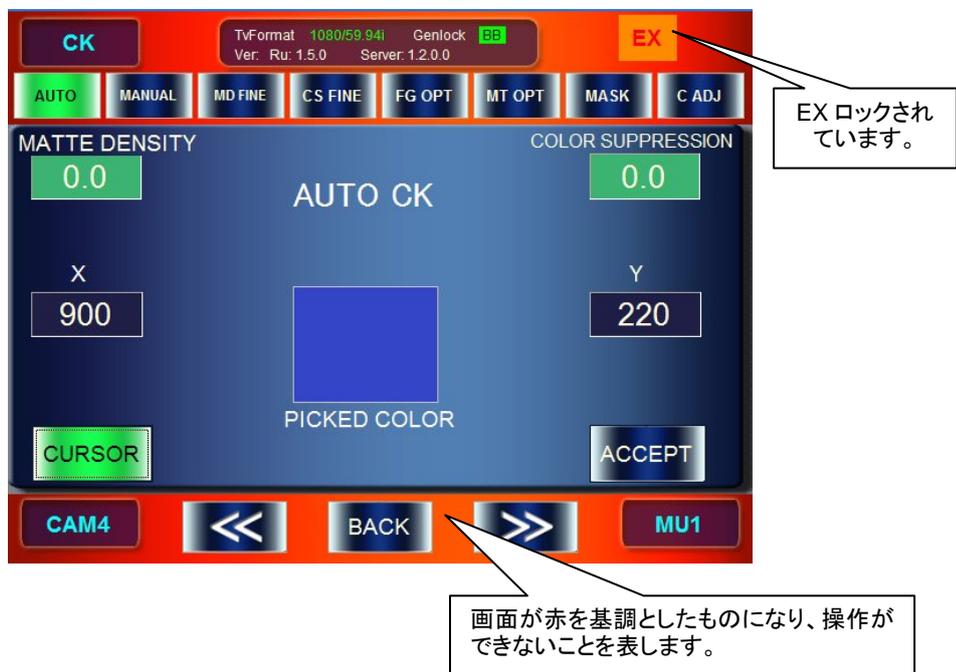


### Exclusive ロックを解除する

- 1) **EX LOCK** ボタンを長く押します。
- 2) **EX LOCK** が解除され、他のクライアントも通常操作可能になります。

### 4-9-2-2. 自分以外のクライアントからロックされたとき

自分以外のクライアントから Exclusive ロックを有効にされると、本機は赤を基調とした画面となり、Exclusive ロック解除以外の MBP-1244/100CK の操作は不可能になります。



### Exclusive ロックを解除する

- 1) **EX LOCK** ボタンを長く押します。
- 2) パスワード入力画面が表示されますので、MBP-1244/100CK 側で設定されているパスワードを入力します。
- 3) パスワード入力が成功するとロックは解除され通常操作が可能になります。

### 4-9-3. Operation ロック

Operation ロックはロックをかけた RU のみを操作禁止にします。

本機能を有効にすると RU 上での Operation ロック解除以外の操作が禁止されます。MBP-1244/100CK 自体は操作禁止になりませんので、他のクライアントからの操作は通常通り可能です。

#### 注意

本ロック機能は前面パネルボタンが標準アサイン状態では制御できません。アサインを変更し、**OP LOCK** ボタンをアサインする必要があります。

#### Operation ロックを有効にする

- 1) 前面パネルの **OP LOCK** ボタンを押す。

Operation ロックが有効になると RU の画面は以下のように赤を基調とした画面に変わります。



#### Operation ロックを解除する

- 1) 前面パネルの **OP LOCK** ボタンを長く押しロック状態を解除します。

## 4-10. フリーアサイン機能

MBP-12RU の前面パネルに装備されているボタンおよび、バンクインジケータはカスタマイズ可能となっています。

- カスタマイズはアサインファイル（拡張子“mru”）を指定することで行います。（SETUP→RU SETTING→SW CONFIG）
- アサインファイル（\*.mru）は RU の C:¥MBP-12RU¥DATA 以下に保存してください。
- アサインファイルはこの GUI とは別のアプリケーション“MBP-12RU Switch Assign Builder”（MBP-12RU\_SAB）で行います。
- アサイン可能な機能は以下の機能です。（    部分は標準アサイン）

機能カテゴリ	機能名称	動作	添付フィルム
MENU SELECT	TOP MENU	TOP メニューを開きます。	TOP
	CK MENU	CK メニューを開きます。	CK
	MIX MENU	MIX&OUT メニューを開きます。	MIX
	EVENT MENU	EVENT メニューを開きます。	EVENT
	SETUP MENU	SETUP メニューを開きます。	SETUP
	STILL MENU	STILL&CAPTURE メニューを開きます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	STILL
	MENU NEXT	各メニュー内で次のサブメニューへ移動します。	MENU NEXT
	MENU PREV	各メニュー内で前のサブメニューへ移動します。	MENU PREV
MENU RETURN	TOP メニューに戻ります。	MENU RETURN	
MU SELECT	MU1 SELECT	MU1 を選択します。	MU1
	MU2 SELECT	MU2 を選択します。	MU2
	MU3 SELECT	MU3 を選択します。	MU3
	MU4 SELECT	MU4 を選択します。	MU4
	MU5 SELECT	MU5 を選択します。	MU5
CAM SELECT	CAM1 SELECT	CAM1 を選択します。	CAM1
	CAM2 SELECT	CAM2 を選択します。	CAM2
	CAM3 SELECT	CAM3 を選択します。	CAM3
	CAM4 SELECT	CAM4 を選択します。	CAM4
OUT1 SELECT	OUT1 MIXV	OUT1 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT1 MIXK	OUT1 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT1 MONI V CG	OUT1 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT1 MONI V CK	OUT1 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT1 MONI CAM	OUT1 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT1 MONI K CG	OUT1 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT1 MONI K CK	OUT1 出力の映像をクロマキー映像に切替えます。	CK K
	OUT1 MONI V STILL	OUT1 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT1 MONI K STILL	OUT1 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K

次ページへつづく

機能カテゴリ	機能名称	動作	添付フィルム
OUT1 SELECT	OUT1 MONI V CG2	OUT1 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT1 MONI K CG2	OUT1 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT1 MONI V V1	OUT1 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT1 MONI K V1	OUT1 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
	OUT1 MONI V V2	OUT1 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V
OUT2 SELECT	OUT2 MIXV	OUT2 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT2 MIXK	OUT1 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT2 MONI V CG	OUT2 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT2 MONI V CK	OUT1 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT2 MONI CAM	OUT2 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT2 MONI K CG	OUT2 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT2 MONI K CK	OUT2 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT2 MONI V STILL	OUT2 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT2 MONI K STILL	OUT2 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT2 MONI V CG2	OUT2 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT2 MONI K CG2	OUT2 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT2 MONI V V1	OUT2 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
	OUT2 MONI K V1	OUT2 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
OUT2 MONI V V2	OUT2 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V	
OUT3 SELECT	OUT3 MIXV	OUT3 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT3 MIXK	OUT3 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT3 MONI V CG	OUT3 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT3 MONI V CK	OUT3 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT3 MONI CAM	OUT3 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT3 MONI K CG	OUT3 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT3 MONI K CK	OUT3 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT3 MONI V STILL	OUT3 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT3 MONI K STILL	OUT3 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。 (MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT3 MONI V CG2	OUT3 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT3 MONI K CG2	OUT3 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT3 MONI V V1	OUT3 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V

次ページへつづく

機能カテゴリ	機能名称	動作	添付フィルム
OUT3 SELECT	OUT3 MONI K V1	OUT3 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K
	OUT3 MONI V V2	OUT3 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V
OUT4 SELECT	OUT4 MIXV	OUT4 出力の映像を合成ビデオ映像に切替えます。	MIX V
	OUT4 MIXK	OUT4 出力の映像を合成キー映像に切替えます。	MIX K
	OUT4 MONI V CG	OUT4 出力の映像を CG ビデオ映像に切替えます。	CG V
	OUT4 MONI V CK	OUT4 出力の映像をクロマキービデオ映像に切替えます。	CK V
	OUT4 MONI CAM	OUT4 出力の映像をカメラ映像に切替えます。	CAM
	OUT4 MONI K CG	OUT4 出力の映像を CG キー映像に切替えます。	CG K
	OUT4 MONI K CK	OUT4 出力の映像をクロマキーキー映像に切替えます。	CK K
	OUT4 MONI V STILL	OUT4 出力の映像を STILL ビデオ映像に切替えます。(MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST V
	OUT4 MONI K STILL	OUT4 出力の映像を STILL キー映像に切替えます。(MBP-100CK に接続時のみ使用可能です)	ST K
	OUT4 MONI V CG2	OUT4 出力の映像を CG2 ビデオ映像に切替えます。	CG2 V
	OUT4 MONI K CG2	OUT4 出力の映像を CG2 キー映像に切替えます。	CG2 K
	OUT4 MONI V V1	OUT4 出力の映像を V1 IN (V1 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V1 V
OUT4 MONI K V1	OUT4 出力の映像を V2 IN (V1 キー信号) 入力映像に切替えます。	V1 K	
OUT4 MONI V V2	OUT4 出力の映像を AUX2 (V2 ビデオ信号) 入力映像に切替えます。	V2 V	
MIX SELECT	MIXER1 LAYER1	MIXER1 のレイヤ 1 を ON/OFF します。	L1
	MIXER1 LAYER2	MIXER1 のレイヤ 2 を ON/OFF します。	L2
	MIXER1 LAYER3	MIXER1 のレイヤ 3 を ON/OFF します。	L3
	MIXER1 LAYER4	MIXER1 のレイヤ 4 を ON/OFF します。	L4
	MIXER2 LAYER1	MIXER2 のレイヤ 1 を ON/OFF します。	L1
	MIXER2 LAYER2	MIXER2 のレイヤ 2 を ON/OFF します。	L2
	MIXER2 LAYER3	MIXER2 のレイヤ 3 を ON/OFF します。	L3
	MIXER2 LAYER4	MIXER2 のレイヤ 4 を ON/OFF します。	L4
EVENT LOAD	EVENT LOAD1	イベント番号 1 のイベントをロードします。	EVENT1
	EVENT LOAD2	イベント番号 2 のイベントをロードします。	EVENT2
	EVENT LOAD3	イベント番号 3 のイベントをロードします。	EVENT3
	EVENT LOAD4	イベント番号 4 のイベントをロードします。	EVENT4
	EVENT LOAD5	イベント番号 5 のイベントをロードします。	EVENT5
	EVENT LOAD6	イベント番号 6 のイベントをロードします。	EVENT6
	EVENT LOAD7	イベント番号 7 のイベントをロードします。	EVENT7
	EVENT LOAD8	イベント番号 8 のイベントをロードします。	EVENT8
	EVENT LOAD9	イベント番号 9 のイベントをロードします。	EVENT9
	EVENT LOAD10	イベント番号 10 のイベントをロードします。	EVENT10

次ページへつづく

機能カテゴリ	機能名称	動作	添付フィルム
OTHER BUTTON	DELAY ON	カメラディレイ機能を ON/OFF します。	DELAY ON
	VIRTUAL PRESET	MIXER 1 および MIXER2 のレイヤプリセットを VIRTUAL モードにします。	VIRTUAL
	RCG PRESET	MIXER 1 および MIXER2 のレイヤプリセットを RCG モードにします。	RCG
	ONAIR LOCK	ONAIR ロックを有効/無効にします。	ON AIR
	EXCLUSIVE LOCK	EXCLUSIVE ロックを有効/無効にします。	
	OPERATION LOCK	OPERATION ロックを有効/無効にします。	

- MBP-12RU\_SAB および各機能に対するボタンフィルムを標準で添付していますので、ユーザ自身で変更することも可能です。



MBP-12RU\_SAB については本書付録にて説明しています。付録を参照してください。

## 5. メニュー詳細

### 5-1. カメラ選択

左下のカメラ選択ボタンをタッチパネルでダブルクリックすると、下記のようなカメラの選択画面が表示されます。また、カメラ選択はどのメニューからでも設定に入ることが可能です。

「CAM1」～「CAM4」のボタンをタッチパネルにてクリックすることで、変更することができます。選択されると、ボタンが緑色に変化し、画面左下の文字が、選択したカメラに変わります。元の画面に戻る場合は、左下のカメラ選択をタッチパネルにて1回クリックします。また、前面パネルの「CAM1」～「CAM4」のボタンにて変更することも可能です。



上記の画面の場合、以下のように動作します。

	操作	動作
①	タッチパネルでボタンを押す	CAM1 を選択します。
②	タッチパネルでボタンを押す	CAM2 を選択します。
③	タッチパネルでボタンを押す	CAM3 を選択します。
④	タッチパネルでボタンを押す	CAM4 を選択します。

## 5-2. MU 選択

左下の MU 選択ボタンをタッチパネルにて、ダブルクリックすると、下記のような MU 選択画面が表示されます。



また、MU 選択画面は、どのメニューからでも設定に入ることが可能です。

最大 5 台までの MU が選択できます。

選択できる MU は②または③の様に白字で表示されます。選択すると、ボタンが緑色に点灯し、画面右下の文字が、選択された MU に変わります。

①のように青ボタンに黒字で表示されている MU は、設定がされていますが、接続されていないため、点滅します。

④のようにボタンが黒くなっている場合は、設定も接続もされていません。

元の画面に戻るには、画面右下の MU 選択を 1 回クリックします。

また、前面パネルの「MU1」～「MU5」のボタンでも変更可能です。

上記の画面の場合、以下のように動作します。

	操作	動作
①	タッチパネルでボタンを押す	設定されているが接続されていないため点滅
②	タッチパネルでボタンを押す	設定されており接続もされているため点灯
③	タッチパネルでボタンを押す	制御中。②を選択すると消灯
④	タッチパネルでボタンを押す	設定がされていないので選択不可。

\*前面パネルでは：③の状態のときボタンは橙色に点灯します。

②の状態のときボタンは緑色に点灯します。

その他の状態のときボタンは消灯し、ボタンを押すことはできません。

## 5-3. TOP



前面パネルの「TOP」ボタンを押すとこのメニューが表示されます。  
中央の各メニューボタンを選択(クリック)すると、各機能の設定画面に移ることができます。

### ① CKメニューへの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「CK」メニューが表示されます。

\*MUに接続していない場合、無効となります。

### ② MIXメニューへの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MIX」メニューが表示されます。

\*MUに接続していない場合、無効となります。

### ③ EVENTメニューへの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「EVENT」メニューが表示されます。

\*MUに接続していない場合、無効となります。

### ④ SETUPメニューへの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「SETUP」メニューが表示されます。

### ⑤ STILL&CAPTUREメニューへの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「STILL&CAPTURE」メニューが表示されます。

\*MUに接続していない場合、また MBP-100CK 以外では無効となります。

### ⑥ INFO画面の表示

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	次のような INFO 画面が表示されます。

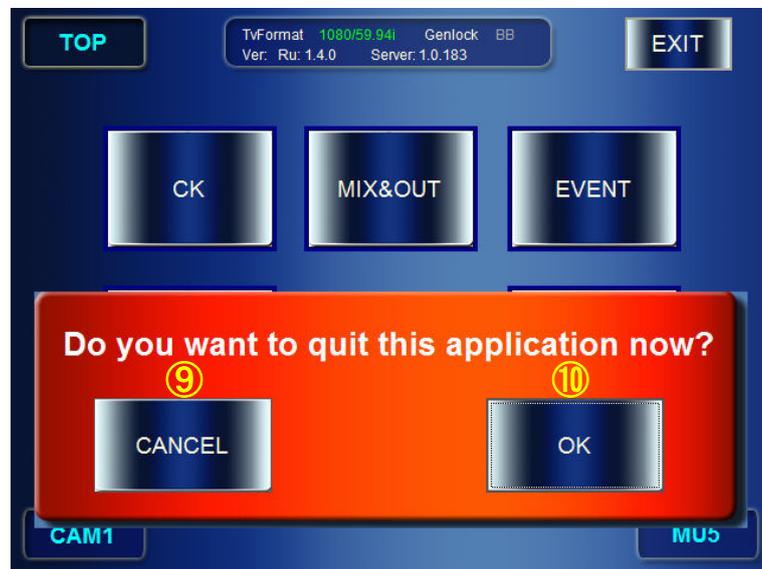


⑦ アプリケーションの終了

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	下画面のような Quit ダイアログが表示されます。

⑧ INFO 画面の終了

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	INFO 画面を閉じ、TOP 画面に戻ります。



⑨ アプリケーションの終了をキャンセル

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	TOP 画面に戻ります。

⑩ アプリケーションの終了

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	アプリケーションを終了し、次画面のような Shutdown ダイアログを表示します。



⑪ シャットダウンのキャンセル

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	ソフトが終了し Windows 画面に移行します。

⑫ シャットダウン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	MBP-12RU が Shutdown します。

## 5-4. SETUP

MBP-1244/100CK のビデオ設定や RU の設定を行います。

### 5-4-1. VIDEO メニュー

TV フォーマットや GENLOCK の調整を行います。



① TV FORMAT を表示、設定します。

表示: 現在設定されている TV FORMAT が表示されます。

操作	動作
左上つまみを押す	TV FORMAT 選択パネルが開閉します。



TV FORMAT メニューについては後述の「5-4-1-1. TV フォーマット選択パネル」で説明します。

② GENLOCK FORMAT を選択します。

表示: **BB**、**TRI** のうち現在設定されている方のボタンが緑表示されます。

尚、現在選択されている TV フォーマットによってはボタンが黒表示になり、どちらかが選択できないようになります。

操作	動作
タッチパネルで <b>BB</b> ボタンを押す	GENLOCK FORMAT を “BB” に設定します。
タッチパネルで <b>TRI</b> ボタンを押す	GENLOCK FORMAT を “TRI” に設定します。
右上つまみを押す	<b>BB</b> ボタン、 <b>TRI</b> ボタンのうち、現在選択されている (赤枠になっている) 方のフォーマットに設定します。
右上つまみを回す	上記の選択赤枠を移動 (フォーマットは変わらず) します。

③ GENLOCK フェーズ V 方向の調整

表示: 値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを回す	値を増（右回し）減（左回し）します。 FINE 時: $\pm 1$ COARSE 時: $\pm 10$ 設定範囲: TV フォーマットにより変化します。

④ GENLOCK フェーズ H 方向の調整

表示: 値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右下つまみを回す	値を増（右回し）減（左回し）します。 FINE 時: $\pm 1$ COARSE 時: $\pm 10$ 最大値: TV フォーマットにより変化します。 最小値: TV フォーマットにより変化します。

⑤ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「RU SETTING」メニューを開きます。

⑥ TOP 画面に戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑦ メニュー移行ボタン

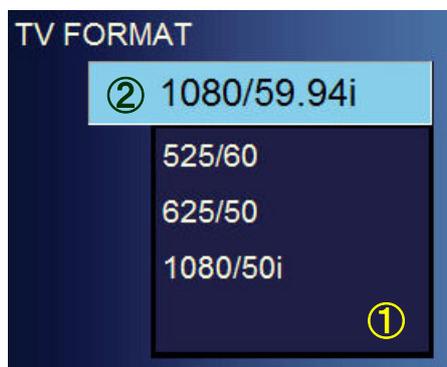
操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「DELAY SETTING」メニューを開きます。

⑧ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

### 5-4-1-1. TV フォーマット選択パネル

5-4-1-①の操作により以下のようなフォーマット選択パネルが表示され、そのパネルで TV FORMAT を選択することが可能です。（\*下図は画面の一部を切り抜いたものです。）



#### ① TV FORMAT 選択パネル

表示: TV フォーマットが一覧表示されます。

操作	動作
左上つまみを回す	選択パネル上のフォーマットを選択します。 現在選択されているフォーマットは②の「TV FORMAT」ボックスに表示されます。 尚、本操作では映像に反映されません。
左上つまみを押す	現在②で表示されているフォーマットに MBP の設定を変更し、選択パネルを閉じます。その際、"Do you want to change Video format?" と確認メッセージが表示され、"OK" と押すと、TV フォーマットが変更されます。

## 5-4-2. DELAY SETTING メニュー

カメラディレイの値を表示、設定するメニューです。



① カメラディレイのフレーム遅延値を表示、設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。

操作	動作
左上つまみを回す	DELAY フレーム値を増減します。 増減値: $\pm 1$ 設定範囲: 0~6 フレーム
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。

② カメラディレイの V 方向ディレイ値を表示、設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを回す	DELAY V 値を増減します。 FINE 時: $\pm 1$ COARSE 時: $\pm 10$ 設定範囲: 0~TV フォーマットにより変化します。

③ カメラディレイの H 方向ディレイ値を表示、設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを回す	DELAY H 値を増減します。 FINE 時: $\pm 2$ COARSE 時: $\pm 20$ 設定範囲: 0~TV フォーマットにより変化します。

④ ディレイ機能の有効／非有効を表示・設定するボタンです。

表示: 現在のディレイ機能が有効／無効か表示

操作	動作
右上つまみを押す	DELAY ON/OFF を切替えます。 ボタン色 緑: DELAY 有効 青: DELAY 無効
タッチパネルでボタンを押す	同上

⑤ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「VIDEO」メニューを開きます。

⑥ TOP 画面へ戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑦ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「OUTPUT OPTION」メニューを開きます。

⑧ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

\*ディレイ機能が OFF の場合、Delay Frame、V、H の値は調整できません。

### 5-4-3. OUTPUT OPTION メニュー

AUTO CK 時のカーソル表示の各 OUT での ON/OFF 設定を行います。



① VIDEO OUTPUT1 に出力される映像に対し、AUTOCK カーソルの表示／非表示を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。

操作	動作
左上つまみを押す	OUTPUT1 のカーソル ON/OFF を設定します。 ボタン色 緑: 表示 ON ボタン色 青: 表示 OFF
タッチパネルでボタンを押す	同上

② VIDEO OUTPUT2 に出力される映像に対し、AUTOCK カーソルの表示／非表示を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。

操作	動作
右上つまみを押す	OUTPUT2 のカーソル ON/OFF を設定します。 ボタン色 緑: 表示 ON ボタン色 青: 表示 OFF
タッチパネルでボタンを押す	同上

③ VIDEO OUTPUT3 に出力される映像に対し、AUTOCK カーソルの表示／非表示を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。

操作	動作
左中つまみを押す	OUTPUT3 のカーソル ON/OFF を設定します。 ボタン色 緑: 表示 ON ボタン色 青: 表示 OFF
タッチパネルでボタンを押す	同上

- ④ VIDEO OUTPUT4 に出力される映像に対し、AUTOCK カースルの表示／非表示を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。

操作	動作
右中つまみを押す	OUTPUT4 のカーソル ON/OFF を設定します。 ボタン色 緑: 表示 ON ボタン色 青: 表示 OFF
タッチパネルでボタンを押す	同上

- ⑤ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「DELAY SETTING」メニューを開きます。

- ⑥ TOP 画面へ戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑦ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「NETWORK」メニューを開きます。

- ⑧ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-4-4. NETWORK メニュー

MBP-12RU および MU のネットワーク設定をすることができます。



- ① MBP-12RU の IP が表示されます。
- ② MU1 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ③ MU2 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ④ MU3 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ⑤ MU4 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。
- ⑥ MU5 に設定されている MBP-1244/100CK の IP アドレスが表示されます。

- ⑦ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「AUTO CK CURSOR ON/OFF」メニューを開きます。

- ⑧ TOP 画面へ戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑨ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「RU SETTINGS」メニューを開きます。

- ⑩ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

- ⑪ IP 値変更ボックス

①～⑥の中で選択されている値を変更します。

表示: ①～⑥の中で選択されている値

操作	動作
左上つまみを回す	値を変更する項目を選択します。
右上つまみを回す	値を変更します。

⑫ 確定ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①～⑥で設定した値を確定します。 ①を含む変更を行った場合、次のような“ <b>Change RU IPAddress</b> ”画面が、①を除く②～⑥を変更した場合は、“ <b>Change MU IPAddress</b> ”画面が表示されます。 詳細は次頁へ
右下つまみを押す	同上

Change RU IPAddress



⑬ RU IPAddress 設定のキャンセル

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	RU IPAddress の設定をキャンセルし、「NETWORK」メニューに戻ります。

同時に MU の IP 設定を変更した場合は、キャンセルボタンを押すと、“Change MU IP Address”画面が表示されます。

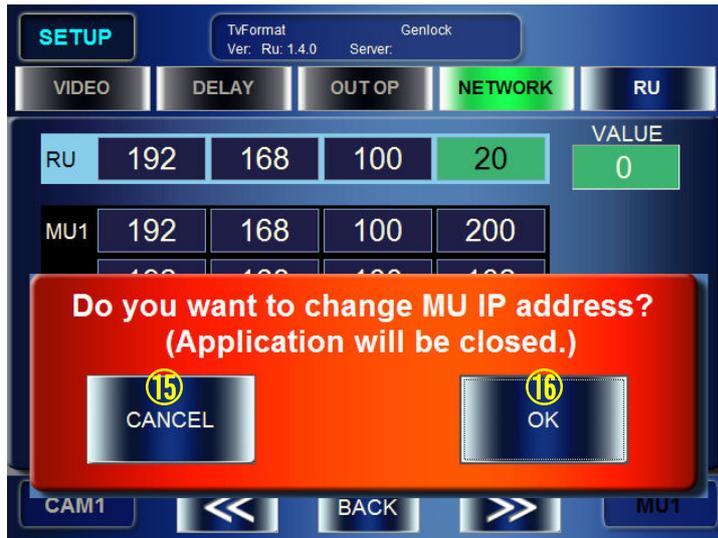
⑭ RU IPAddress 設定の確定

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	RU IPAddress の設定を確定します。

その後、再起動が2回行われ、ソフトが立ち上がります。

MU1 から MU5 の IP 設定も変更していた場合、ここで一緒に変更されます。

## Change MU IPAddress



### ⑮ MU IPAddress 設定のキャンセル

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	MU IPAddress の設定をキャンセルし、「NETWORK」メニューに戻ります。

### ⑯ MU IPAddress 設定の確定

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	MU IPAddress の設定を確定します。

その後、ソフトが終了し、Windows 画面が表示されますので、デスクトップ上 Mbp12RUGUI.exe のショートカットをタッチパネルにてダブルクリックし、ソフトを起動してください。

## 5-4-5. RU SETTINGS メニュー

RU の LCD の明るさ、ボタンの明るさ、ボタン機能のアサインを設定します。



### ① SW CONFIG 選択パネル表示

操作	動作
左上つまみを押す	SW CONFIG 選択パネルを開きます。詳細は次章を参照してください。

② LCDの明るさを設定します。

表示: 現在の明るさ値が表示されます。値が大きい程、明るくなります。

操作	動作
右上つまみを回す	LCDの明るさを変更します。 設定範囲: 0~31

③ ボタンの明るさを設定します。値が大きい程、明るくなります。

操作	動作
右中つまみを回す	ボタンの明るさを変更します。 設定範囲: 0~15

④ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「NETWORK」メニューを開きます。

⑤ TOPメニューへ戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑥ メニュー移行ボタン

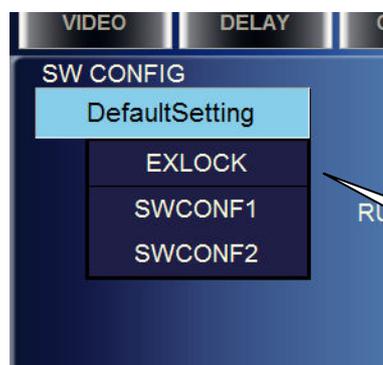
操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「VIDEO」メニューを開きます。

⑦ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-4-6. SWCONFIG パネル

本機の前面パネルに装備されているボタンのアサインセット(ファイル指定)を変更します。アサインセットファイルは別アプリケーション(標準添付 MBP-12RU\_SAB)で作成します。アサインセットファイルは本機の C:\MBP-12RU\DATA 以下に格納します。



\*図は画面の一部を切り抜いたものです。

C:\MBP-12RU\DATA 以下にある \*.mru ファイル(アサインセットファイル)がリスト表示されます。

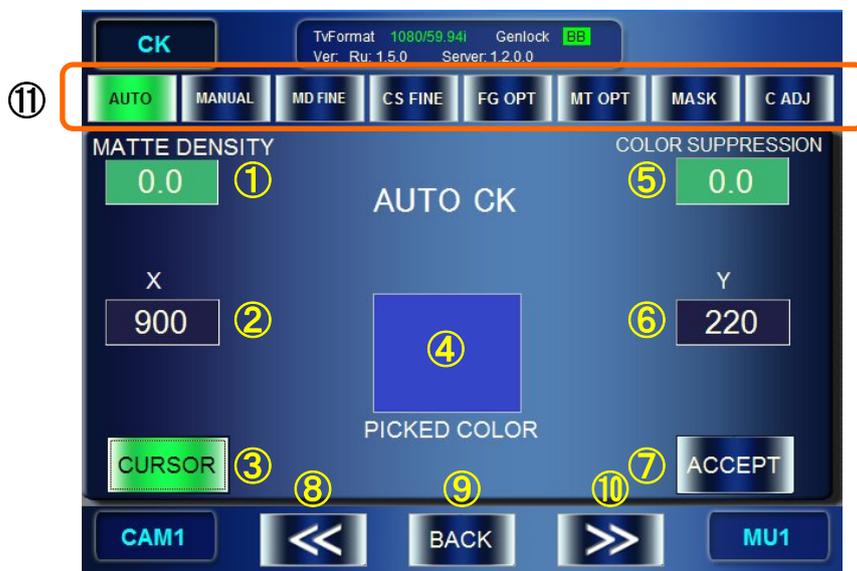
操作	動作
左上つまみを回す	DATA フォルダに入っているアサインセットファイルの中の一つを選択します(水色背景で選択状態)。
左上つまみを押す	現在選択中のアサインセットへの変更を決定し、SWCONF パネルを閉じます。"This change will be active at next boot."と表示され、"OK"を押すと、本 GUI の次回起動時に反映されます。

## 5-5. CK メニュー

MBP-1244/100CK のクロマキー設定を調整します。

### 5-5-1. AUTO CK メニュー

Matte の基準色 (BACK COLOR) を画面上で指定するだけで自動的にクロマキーのキーを生成すること (AUTO CK モード) が可能なメニューです。



① Matte Density 値 (Back Color の近似色に対する Matte 信号の濃淡) を調整します。  
表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左上つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを回す	Matte Density 値を変更します。 FINE 時: $\pm 0.5$ COARSE 時: $\pm 5$ 設定範囲: -100~100

\* 「5-5-2. MANUAL CK メニュー」の①の項目と同じ値となります。

② オートクロマキーカーソル X 位置設定ボックス

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左中つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。
左中つまみを押す	UNITY 値「画面中央」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを回す	カーソルの X ポジションを変更します。 FINE 時: $\pm 1$ COARSE 時: $\pm 10$ 設定範囲: 0~TV フォーマットにより変化します。

\*オートカーソルが ON 時のみ調整可能です。

③ オートカーソル ON/OFF ボタン

表示: オートカーソルが ON の時はボタン色が“緑”、OFF の時は“青”になります。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	OFF 時: オートカーソルを ON にし、AUTO CK モードへ移行します。 ON 時: AUTO CK モードを終了し、オートカーソルを OFF にします。
左下つまみを押す	同上

④ 設定された BACK COLOR の色が表示されます。

操作	動作
タッチパネルで枠内をタッチ	AUTO CK モード ON 時: 現在のカーソルポジションの色が表示されます。(Picked Color) AUTO CK モード OFF 時: 現在設定されている BACK COLOR の色が表示されます。 枠内をタッチすると BG CONDITION パネルの表示が ON/OFF されます。

⑤ Color Suppression 値 (FG 映像から Back Color を抑制する) を調整します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを回す	Color Suppression 値を変更します。 FINE 時: $\pm 0.5$ COARSE 時: $\pm 5$ 設定範囲: -100~100

\*「5-5-2. MANUAL CK メニュー」の⑤の項目と同じ値となります。

⑥ オートクロマキーカーソル Y 位置設定ボックス

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右中つまみを押す	UNITY 値「画面中央」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを回す	カーソルの Y ポジションを変更します。 FINE 時: $\pm 1$ COARSE 時: $\pm 10$ 設定範囲: 0~TV フォーマットにより変化します。

\*オートカーソルが ON 時のみ調整可能です。

⑦ BACK COLOR 反映ボタン

表示: AUTO CK モード時に有効になります。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す (AUTO CK モード時のみ)	現在選択されている Picked Color を Back Color に反映し、映像のキーイングが実行される 本操作後、AUTO CK モードは解除され、オートカーソルも OFF にされる
右下つまみを押す	同上

⑧ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「COLOR ADJUST」メニューを開きます。

⑨ TOPメニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑩ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MANUAL CK」メニューを開きます。

⑪ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-5-2. MANUAL CK メニュー

Matteの基準色（BACK COLOR）のHUE、SATURATION、LUMINANCEの3つのパラメータを調整することでキーを生成するメニューです。



① Matte Density 値（Back Color の近似色に対する Matte 信号の濃淡）を調整します。  
表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを回す	Matte Density 値を変更します。 FINE 時: $\pm 0.5$ COARSE 時: $\pm 5$ 設定範囲: $-100 \sim 100$

\* 「5-5-1 AUTO CK メニュー」の①の項目と同じ値となります。

② BACK COLOR HUE 値を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左中つまみを押す	UNITY 値「前にオートクロマキーを実行したときの値」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを回す	HUE 値を変更します。 FINE 時: ±0.1 COARSE 時: ±10 設定範囲: 0~359.5

③ BACK COLOR SATURATION 値を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
左下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左下つまみを押す	UNITY 値「前にオートクロマキーを実行したときの値」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを回す	SATURATION 値を変更します。 FINE 時: ±0.1 COARSE 時: ±1 設定範囲: 0~100

④ 設定された BACK COLOR の色が表示されます。

操作	動作
タッチパネルで枠内をタッチ	現在の HUE、SATURATION、LUMINUNCE の値で決定された BACK COLOR 色が表示されます。 枠内をタッチすると BG CONDITION パネルの表示が ON/OFF されます。

⑤ Color Suppression 値 (FG 映像の Back Color 色を抑制する) を調整します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを回す	Color Suppression 値を変更します。 FINE 時: ±0.5 COARSE 時: ±5 設定範囲: -100~100

\* 「5-5-1 AUTO CK メニュー」の⑤の項目と同じ値となります。

⑥ BACK COLOR LUMINUNCE 値を設定します。

表示: 現在設定されている値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右中つまみを押す	UNITY 値「前にオートクロマキーを実行したときの値」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを回す	LUMINUNCE 値を変更します。 FINE 時: ±0.1 COARSE 時: ±1 設定範囲: 0~109

⑦ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「AUTO CK」メニューを開きます。

⑧ TOPメニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MATTE DENSITY FINE TUNING」メニューを開きます。

⑩ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

### 5-5-3. BACK GROUND CONDITION

クロマキーバックの色と濃淡の状態に有効な設定を選択することで、より適切な Matte 生成が可能です。ただし、状態によっては必ずしも最適とはならない場合もありますので、実際の映像に応じて設定してください。BG CONDITION には以下 5 つのモードがあります。

- **STANDARD**  
標準設定です。
- **BLUE BACK UNIFORM**  
背景が青色で濃淡が一樣な場合に有効です。
- **BLUE BACK UNEVEN**  
背景が青色で濃淡にむらがある場合に有効です。
- **GREEN BACK UNIFORM**  
背景が緑色で濃淡が一樣な場合に有効です。
- **GREEN BACK UNEVEN**  
背景が緑色で濃淡にむらがある場合に有効です。



	操作	動作
①	タッチパネルで PICKED COLOR /BACK COLOR の枠内を押す	AUTO CK または MANUAL CK タブを表示中に押すと、BG CONDITION PANEL の表示 /非表示を切替えることができます。 尚、BG CONDITION は AUTO CK タブと MANUAL CK タブで共通です。
②	タッチパネルでボタンを押す	BG CONDITION を STANDARD にします。
③	タッチパネルでボタンを押す	BG CONDITION を BLUE BACK UNIFORM にします
④	タッチパネルでボタンを押す	BG CONDITION を BLUE BACK UNEVEN にします
⑤	タッチパネルでボタンを押す	BG CONDITION を GREEN BACK UNIFORM にします
⑥	タッチパネルでボタンを押す	BG CONDITION を GREEN BACK UNEVEN にします

## 5-5-4. MATTE DENSITY FINE TUNING メニュー

クロマキーで生成する MATTE 信号の濃淡の詳細設定を行います。



- ① BACK COLOR の色成分のうち白色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、白っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力を行います。
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左上つまみを回す	MD FINE WHITE の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ② BACK COLOR の色成分のうち赤色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、赤っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力を行います。
左中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左中つまみを回す	MD FINE RED の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ③ BACK COLOR の色成分のうち青色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、緑を Back color としたとき、青っぽい緑の部分の MATTE の濃淡を調整します。表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
左下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左下つまみを回す	MD FINE BLUE の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ④ BACK COLOR の色成分のうち黒色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、黒っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
右上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右上つまみを回す	MD FINE BLACK の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ⑤ BACK COLOR の色成分のうち緑色成分を含む部分の MATTE の濃淡を調整します。例えば、青を Back color としたとき、緑っぽい青の部分の MATTE の濃淡を調整します。表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
右中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右中つまみを回す	MD FINE GREEN の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

⑥ MATTE 信号の濃淡を調整します（抜けの堅さの調整）。

表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
右下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右下つまみを回す	MD FINE SOLIDNESS の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

⑦ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MANUAL CK」メニューを開きます。

⑧ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「COLOR SUPPRESSION FINE TUNING」メニューを開きます。

⑩ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-5-5. COLOR SUPPRESSION FINE TUNING

FG 映像から BACK COLOR に設定された色の引き込み具合を調整します。



- ① FG 映像の白成分を含む部分の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左上つまみを回す	CS FINE WHITE の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ② FG 映像のうち赤成分を含む部分の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
左中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左中つまみを回す	CS FINE RED の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ③ FG 映像のうち青成分を含む部分の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
左下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
左下つまみを回す	CS FINE BLUE の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ④ FG 映像のうち黒成分を含む部分の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示され、数値が入力できます。
右上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”の切替えます。
右上つまみを回す	CS FINE BLACK の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ⑤ FG 映像のうち緑成分を含む部分の BACK COLOR 色の抑制度合を調整します。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示され、数値が入力できます。
右中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右中つまみを回す	CS FINE GREEN の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ⑥ FG 信号の抑制度合を調整します（抜けの堅さの調整）。  
表示：現在の設定値が表示されます。入力ボックスが緑の時は“FINE”調整、青の時は“COARSE”調整です。

操作	動作
タッチパネルで数値ボックスを押す	数字入力パネルが表示されますので、数値の入力をします。
右下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。
右下つまみを回す	CS FINE SOLIDNESS の値を増減します。 FINE 時：±0.5 COARSE 時：±5 設定範囲：-100~100

- ⑦ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MATTE DENSITY FINE TUNING」メニューを開きます。

- ⑧ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑨ 設定メニューの移行

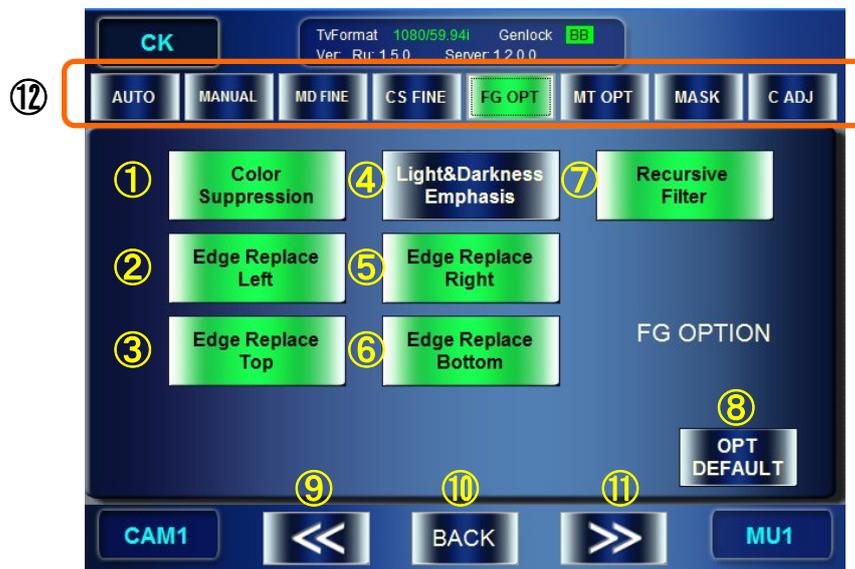
操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「FG OPTION」メニューを開きます。

- ⑩ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-5-6. FG OPTION メニュー

合成時にフォアグラウンドになる映像に対するクロマキーのオプション効果を設定するメニューです。



- ① バックカラーの抑制機能を ON/OFF します。OFF にすると COLOR SUPRESSION の各調整が無効になります。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ② クロマキー映像の左側エッジの色を内側の色に置き換えます。  
照明の写り込みで明るく（白く）なった輪郭や、カメラのレンズ収差で黒くなった輪郭を内側の色に置き換えることにより合成時の不自然さを改善することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ③ クロマキー映像の上側エッジの色を内側の色に置き換えます。  
照明の写り込みで明るく（白く）なった輪郭や、カメラのレンズ収差で黒くなった輪郭を内側の色に置き換えることにより合成時の不自然さを改善することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ④ 明暗の強調を行います。  
照明の影響で明るくなった黒髪を黒くしたいときや、バックカラーの反射で暗くなった白煙や透明なグラスをより明るくすることが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑤ クロマキー映像の右側エッジの色を内側の色に置き換えます。  
 照明の写り込みで明るく（白く）なった輪郭や、カメラのレンズ収差で黒くなった輪郭を内側の色に置き換えることにより合成時の不自然さを改善することができます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ⑥ クロマキー映像の下側エッジの色を内側の色に置き換えます。  
 照明の写り込みで明るく（白く）なった輪郭や、カメラのレンズ収差で黒くなった輪郭を内側の色に置き換えることにより合成時の不自然さを改善することができます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ⑦ チラツキノイズに有効なノイズフィルタの設定です

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ⑧ FG OPTION の各パラメータを全てデフォルトに戻します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①～⑦のオプションを全てデフォルトの状態に戻します。

- ⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「COLOR SUPPRESSION FINE TUNING」メニューを開きます。

- ⑩ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑪ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MATTE OPTION」メニューを開きます。

- ⑫ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-5-7. MATTE OPTION メニュー

合成時にバックグラウンドになる映像に対するクロマキーのオプション効果を設定するメニューです。



- ① MATTE 生成の際、垂直方向に対しフィルタを ON/OFF します。  
ON にすると MATTE の垂直エッジを滑らかにします。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ② 輝度成分の明るさのむらを抑制するノイズフィルタを ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ③ 緑成分の色むらを抑制するノイズフィルタを ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ④ MATTE 信号左側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) の ON/OFF を設定します。合成時の不自然さを低減することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑤ MATTE 信号上側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) の ON/OFF を設定します。合成時の不自然さを低減することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑥ MATTE 生成の際、水平方向に対しフィルタを ON/OFF します。  
ON にすると MATTE の水平エッジを滑らかにします。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ⑦ 赤成分の色むらを抑制するノイズフィルタを ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑧ 青成分の色むらを抑制するノイズフィルタを ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑨ MATTE 信号右側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) の ON/OFF を設定します。合成時の不自然さを低減することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑩ MATTE 信号下側に対するシュリンク (MATTE 信号のみ細める) の ON/OFF を設定します。合成時の不自然さを低減することが可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

- ⑪ チラツキノイズに有効なノイズフィルタを ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : ON

- ⑫ バックカラーに白や黒を選択する場合には、ON に設定してください。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	機能の ON/OFF を切替えます。 DEFAULT : OFF

- ⑬ MATTE OPTION の全オプションをデフォルトに戻します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①～⑫のオプションを全てデフォルトの状態に戻します。

- ⑭ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「FG OPTION」メニューを開きます。

⑮ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑯ 設定メニューの移行

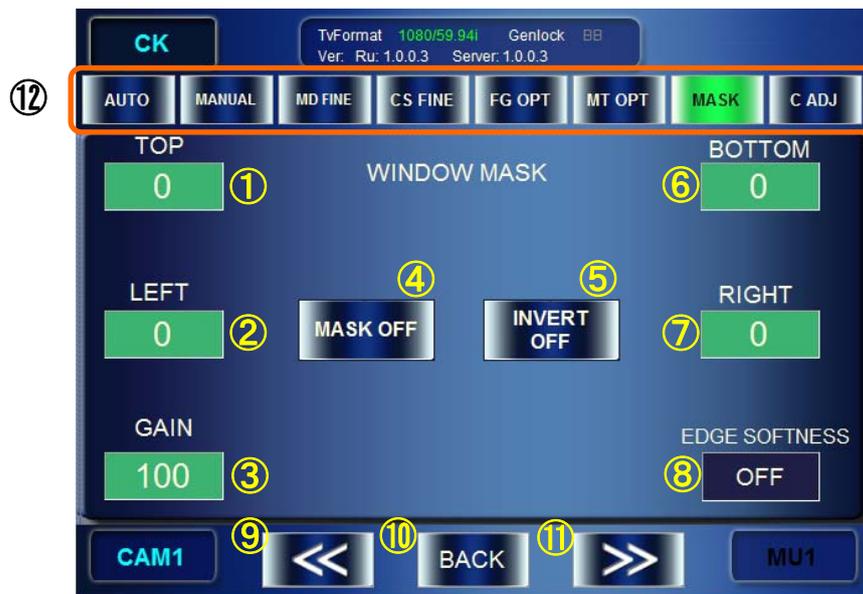
操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「WINDOW MASK」メニューを開きます。

⑰ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

### 5-5-8. WINDOW MASK メニュー

画面上でクロマキーを生成する範囲に矩形形状のマスク（クロマキーを実施しない領域を決定する）を設定するメニューです。Window Mask はカメラ毎に保存され、CAM を切替えると Window Mask 設定も切替わります。



Window Mask はクロマキー画面に対し以下のような形のマスクを生成します

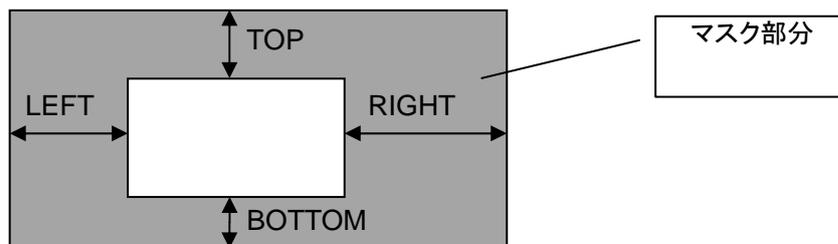


図 5-1 Window Mask と各パラメータ

① Window Mask の画面上端からの範囲を調整します。

操作	動作
左上つまみを回す	Window Mask の上端からの範囲 (TOP) を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±10 設定範囲 : 0~(TV 方式による最大画角 - BOTTOM 値)
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。

② Window Mask の画面左端からの範囲を調整します。

操作	動作
左中つまみを回す	Window Mask の左端からの範囲 (LEFT) を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±10 設定範囲 : 0~(TV 方式による最大画角 - RIGHT 値)
左中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。

③ Window Mask のゲインを調整します。

操作	動作
左下つまみを回す	Window Mask のゲインを調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±5 設定範囲 : 100~0
左下つまみを押す	UNITY 値「100」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。

④ Window Mask 機能を ON/OFF します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	Window Mask 機能の ON/OFF を切替えます。 ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

⑤ Window Mask 機能を反転します。

INVERT ON とすると図 5-1 Window Mask と各パラメータで表示された MASK 領域が反転されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	反転機能の ON/OFF を切替えます。ON 時 Window Mask 領域が反転されます。 ON 時にはボタンが緑色になります。 DEFAULT : OFF

⑥ Window Mask の画面下端からの範囲を調整します。

操作	動作
右上つまみを回す	Window Mask の下端からの範囲 (BOTTOM) を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±10 設定範囲 : 0~(TV 方式による最大画角 - TOP 値)
右上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを長く押す	調整ステップ “FINE”、“COARSE” を切替えます。

⑦ Window Mask の画面右端からの範囲を調整します。

操作	動作
右中つまみを回す	Window Mask の右端からの範囲 (RIGHT) を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±10 設定範囲 : 0~ (TV 方式による最大画角 - LEFT 値)
右中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

⑧ Window Mask のエッジをぼかす設定です。設定したピクセルの幅分エッジをぼかします。

操作	動作
右下つまみを回す	マスクエッジのピクセル数を選択します。 設定可能値 : "OFF", "4PIX", "8PIX", "16PIX"
右下つまみを押す	マスクエッジの値を決定します。 決定された値は背景が橙色になります。

⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MATTE OPTION」メニューを開きます。

⑩ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑪ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「COLOR ADJUST」メニューを開きます。

⑫ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-5-9. COLOR ADJUST メニュー

クロマキー出力信号に対してレベル調整を行います。

クロマキー処理された FG の Y,Pb,Pr 信号に対して、それぞれ Offset と Gain を設定します。Color Adjust 設定はカメラ毎に保存され、CAM を切替えると Color Adjust 設定も連動して切替わります。



- ① クロマキー処理された FG の Y 信号に対して Offset を設定します。

操作	動作
左上つまみを回す	FG の Y 信号の Offset を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : -50.0~50.0(%)
左上つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ② クロマキー処理された FG の Pb 信号に対して Offset を設定します。

操作	動作
左中つまみを回す	FG の Pb 信号の Offset を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : -50.0~50.0(%)
左中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ③ クロマキー処理された FG の Pr 信号に対して Offset を設定します。

操作	動作
左下つまみを回す	FG の Pr 信号の Offset を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : -50.0~50.0(%)
左下つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
左下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ④ クロマキー処理された FG の Y 信号に対して Gain を設定します。

操作	動作
右上つまみを回す	FG の Y 信号の Gain を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : 50.0~150.0(%)
右上つまみを押す	UNITY 値「100」と VARIABLE 値を切替えます。
右上つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ⑤ クロマキー処理された FG の Pb 信号に対して Gain を設定します。

操作	動作
右中つまみを回す	FG の Pb 信号の Gain を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : 50.0~150.0(%)
右中つまみを押す	UNITY 値「100」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ⑥ クロマキー処理された FG の Pr 信号に対して Gain を設定します。

操作	動作
右下つまみを回す	FG の Pr 信号の Gain を調整します。 FINE : ±0.1 COARSE : ±1 設定範囲 : 50.0~150.0(%)
右下つまみを押す	UNITY 値「100」と VARIABLE 値を切替えます。
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ⑦ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「WINDOW MASK」メニューを開きます。

- ⑧ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「AUTO CK」メニューを開きます。

- ⑩ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-6. MIX & OUT メニュー

MBP が持つ 2 つの MIXER（合成回路）の設定を行うメニューです。合成の方法や、レイヤの構成などを設定します。

MIXER1 は VIDEO OUT1, VIDEO OUT2 の映像に使用します。

MIXER2 は VIDEO OUT3, VIDEO OUT4 の映像に使用します。

### 5-6-1. MIXER1 SETTING メニュー

MIXER1 の設定を行います。

MBP の合成では L1 が最上段、L4 が最下段になります。



- ① Mix Mode, Key Clip, Key Gain および SOURCE を設定する Layer を選択します。

表示：選択されているレイヤ名が表示されます。

操作	動作
左上つまみを回す	レイヤを選択します。

- ② レイヤの素材選択ボックス

レイヤに素材を設定します。（後述③のレイヤモードが“VIRTUAL”、“RCG”の時は変更不可です。）

表示：選択レイヤの素材信号名が表示されます。

操作	動作
左中つまみを回す	レイヤの素材の項目を選択します。 選択可能項目： “CAM (INT/EXT)”, “CK (INT/EXT)”, “CG (INT/EXT)”, “CG2”, “STILL”, “V1 IN”, “V2 IN”, “NO ASSIGN”
左中つまみを押す	レイヤ素材を表示されている項目に決定します。 決定された項目は背景が橙色になります。

● レイヤの素材詳細

レイヤの素材として選択可能な信号は以下表の通りとなっています。

ソース名	説明
NO ASSIGN	信号をアサインしません
CAM (INT/EXT)	カメラ信号です。 MBP-1244に接続している場合は、CAM 端子入力信号(EXT)です。 MBP-100CKに接続している場合は、4.6.2のCK素材の切替えにより、CAM 端子入力信号(EXT)と、静止画の内部生成信号(INT)が切替わります。
CK (INT/EXT)	クロマキー信号です。 MBP-1244に接続している場合は、CAM 端子入力による CK 信号 (EXT) です。 MBP-100CKに接続している場合は、「4-6-2」のCK素材の切替えにより、CAM 端子入力信号による CK 信号 (EXT) と、内部生成の静止画による CK 信号 (INT) が切替わります。 この信号はクロマキーオプション MBP-12CK が装着されていない場合は選択できません。
CG (INT/EXT)	CG 信号です。 MBP-1244に接続している場合は、Brainstorm による内部生成 CG (INT) です。 MBP-100CKに接続している場合は、CG(V/K)INPUT 端子入力信号 (EXT) です。
STILL	内部生成された静止画 CG 信号です。 MBP-100CKに接続している時のみ使用可能となります。
CG2	CG 信号の 2 系統目です。MBP-100CK 接続時は使用できません。
V1 IN	V1 IN/V2 IN の入力信号をアサインします。MBP-100CK 接続時は使用できません。
V2 IN	AUX2 の入力信号をアサインします (キー無し信号として内部処理されます)。MBP-100CK 接続時は使用できません。

③ レイヤ構成モード選択

レイヤ構成のモードを変更します。

表示；レイヤモードが表示されます。

操作	動作
左下つまみを回す	レイヤ構成モードの項目を選択します。 選択可能項目：“VIRTUAL”、“RCG”、“USER1”、“USER2”、“USER3”
左下つまみを押す	レイヤ構成モードを表示されている項目に決定します。 決定された項目は背景が橙色になります。

● レイヤ構成モード詳細

レイヤ構成モードには「VIRTUAL」、「RCG」のプリセットモード 2 組と、ユーザが変更可能なユーザ設定 3 組の計 5 組があります。

それぞれの構成内容は下表のようになっています。

レイヤ	VIRTUAL	RCG	USER1	USER2	USER3
L1 (Top)	NO ASSIGN	CG	フリーアサイン (デフォルトは全て NO ASSIGN)		
L2	CG	CK			
L3	CK	CG			
L4 (Bottom)	CG	CAM			

④ レイヤ 1 の ON/OFF ボタン

表示：レイヤの ON/OFF が表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ 1 の ON/OFF を切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ 1 ON 青：レイヤ 1 OFF

⑤ レイヤ 2 の ON/OFF ボタン

表示：レイヤの ON/OFF が表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ 2 の ON/OFF を切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ 2 ON 青：レイヤ 2 OFF

⑥ レイヤ 3 の ON/OFF ボタン。

表示：レイヤの ON/OFF が表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ 3 の ON/OFF を切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ 3 ON 青：レイヤ 3 OFF

⑦ レイヤ 4 の ON/OFF ボタン。

表示：レイヤの ON/OFF が表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ 4 の ON/OFF を切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ 4 ON 青：レイヤ 4 OFF

⑧ Mix Mode (合成の際のキーの演算方法) を設定します「Add」モードと「Normal」モードが選択できます。

操作	動作
右上つまみを回す	選択されているレイヤの一つ下のレイヤとの合成モードを「Add」か「Normal」を選択します。
右上つまみを押す	合成モードを決定します。 決定された合成モードは橙色背景となります。

⑨ Key Clip (合成の際、キーにクリップをかけます) を設定します。

操作	動作
右中つまみを回す	選択されているレイヤのキーのクリップ値を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±10 設定範囲 : 0~100
右中つまみを押す	UNITY 値「0」と VARIABLE 値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ⑩ Key Gain（合成の際、キーにゲインをかけます）を設定します。

操作	動作
右下つまみを回す	選択されているレイヤのキーゲイン値を調整します。 FINE : ±1 COARSE : ±50 設定範囲 : 0~3199
右下つまみを押す	UNITY 値「100」と VARIABLE 値を切替えます。
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

- ⑪ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「OUTPUT SELECT」メニューを開きます。

- ⑫ TOP メニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

- ⑬ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MIXER2 SETTING」メニューを開きます。

- ⑭ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-6-2. MIXER2 SETTING メニュー

MIXER2 の設定を行います。

MIXER1 同様、L1 が最上段、L4 が最下段になります。



- ① Mix Mode, Key Clip, Key Gain および SOURCE を設定する Layer を選択します。  
表示 : 選択されているレイヤ名が表示されます。

操作	動作
左上つまみを回す	レイヤを選択します。

② レイヤの素材選択ボックス

レイヤに素材を設定します。(後述③のレイヤモードが“VIRTUAL”、“RCG”の時は変更不可です。)

表示：選択レイヤの素材信号名が表示されます。

操作	動作
左中つまみを回す	レイヤの素材の項目を選択します。 選択可能項目： “CAM (INT/EXT)”, “CK (INT/EXT)”, “CG (INT/EXT)”, “STILL”, “CG2”, “V1 IN”, “V2 IN”, “NO ASSIGN”
左中つまみを押す	レイヤ素材を表示されている項目に決定します。 決定された項目は背景が橙色になります。

③ レイヤ構成モード選択

レイヤ構成のモードを変更します。

表示：レイヤモードが表示されます。

操作	動作
左下つまみを回す	レイヤ構成モードの項目を選択します。 選択可能項目：“VIRTUAL”, “RCG”, “USER1”, “USER2”, “USER3”
左下つまみを押す	レイヤ構成モードを表示されている項目に決定します。 決定された項目は背景が橙色になります。

④ レイヤ1のON/OFFボタン

表示：レイヤのON/OFFが表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ1のON/OFFを切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ1 ON 青：レイヤ1 OFF

⑤ レイヤ2のON/OFFボタン

表示：レイヤのON/OFFが表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ2のON/OFFを切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ2 ON 青：レイヤ2 OFF

⑥ レイヤ3のON/OFFボタン

表示：レイヤのON/OFFが表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。またボタンの横には設定されている Mix Mode(MODE)、Key Clip(CLIP)、Key Gain(GAIN)、の値が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ3のON/OFFを切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ3 ON 青：レイヤ3 OFF

⑦ レイヤ4のON/OFFボタン。

表示：レイヤのON/OFFが表示されます。ボタンにはレイヤに設定されている映像名が表示されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	レイヤ4のON/OFFを切替えます。 ボタン色 緑：レイヤ4 ON 青：レイヤ4 OFF

⑧ Mix Mode（合成の際のキーの演算方法）を設定します「Add」モードと「Normal」モードが選択できます。

操作	動作
右上つまみを回す	選択されているレイヤの一つ下のレイヤとの合成モードを「Add」か「Normal」を選択します。
右上つまみを押す	合成モードを決定します。 決定された合成モードは橙色背景となります。

⑨ Key Clip（合成の際、キーにクリップをかけます）を設定します。

操作	動作
右中つまみを回す	選択されているレイヤのキーのクリップ値を調整します。 FINE：±1 COARSE：±10 設定範囲：0~100
右中つまみを押す	UNITY値「0」とVARIABLE値を切替えます。
右中つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

⑩ Key Gain（合成の際、キーにゲインをかけます）を設定します。

操作	動作
右下つまみを回す	選択されているレイヤのキーゲイン値を調整します。 FINE：±1 COARSE：±50 設定範囲：0~3199
右下つまみを押す	UNITY値「100」とVARIABLE値を切替えます。
右下つまみを長く押す	調整ステップ“FINE”、“COARSE”を切替えます。

⑪ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MIXER1 SETTING」メニューを開きます。

⑫ TOPメニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑬ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「OUTPUT SELECT」メニューを開きます。

⑭ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

### 5-6-3. OUTPUT SELECT メニュー

OUTPUTに出す信号を制御します。



#### ① OUTPUT 選択

操作	動作
左上つまみを回す	設定する OUTPUT (OUT1~OUT4) を選択します。

#### ② ①で選択した OUTPUT に MIX VIDEO (合成ビデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から MIX VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

#### ③ ①で選択した OUTPUT に MIX KEY (合成キー映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から MIX KEY を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

#### ④ ①で選択した OUTPUT に CAM (カメラ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CAM を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

#### ⑤ ①で選択した OUTPUT に CK VIDEO (クロマキービデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑥ ①で選択した OUTPUT に CK KEY (クロマキーのキー映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG KEY を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑦ ①で選択した OUTPUT に CG VIDEO (CG ビデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑧ ①で選択した OUTPUT に CG KEY (CG キー映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG KEY を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑨ ①で選択した OUTPUT に CG2 VIDEO (CG2 ビデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG 2 VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中 本ボタンは MBP-100CK 接続時は無効になります。

⑩ ①で選択した OUTPUT に CG2 KEY (CG2 キー映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から CG 2 KEY を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中 本ボタンは MBP-100CK 接続時は無効になります。

⑪ ①で選択した OUTPUT に V1 IN VIDEO (V1 入力ビデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から V1 IN VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中 本ボタンは MBP-100CK 接続時は無効になります。

⑫ ①で選択した OUTPUT に V1 IN KEY (V1 入力キー映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から V1 IN KEY を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中 本ボタンは MBP-100CK 接続時は無効になります。

⑬ ①で選択した OUTPUT に V2 IN VIDEO (V2 入力ビデオ映像) を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から V2 IN VIDEO を出力します。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中 本ボタンは MBP-100CK 接続時は無効になります。

⑭ ①で選択した OUTPUT に STILL VIDEO（内部生成静止画ビデオ映像）を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から STILL VIDEO を出力します。 本ボタンは MBP-100CK に接続時のみ有効になります。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑮ ①で選択した OUTPUT に STILL KEY（内部生成静止画キー映像）を出力します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	①の OUTPUT から STILL KEY を出力します。 本ボタンは MBP-100CK に接続時のみ有効になります。 ボタン色 緑: 出力中 青: 他のソースを出力中

⑯ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MIXER2 SETTING」メニューを開きます。

⑰ TOP メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑱ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「MIXER1 SETTING」メニューを開きます。

⑲ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

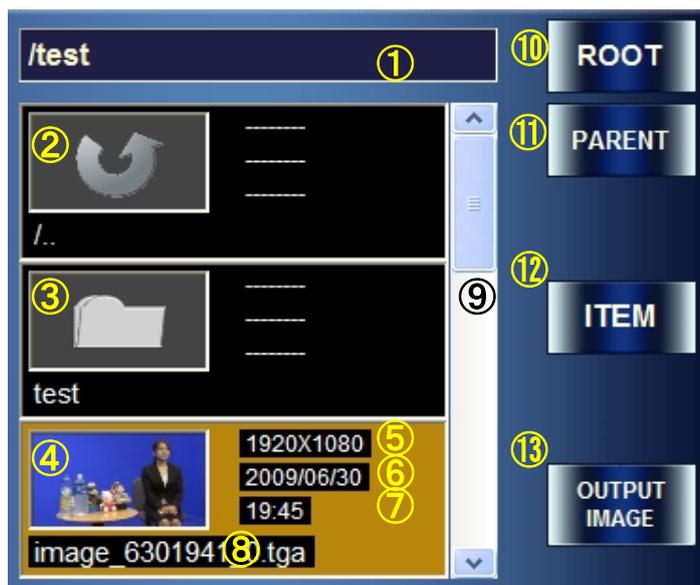
## 5-7. STILL & CAPTURE メニュー (MBP-100CK)

MBP-100CK は CAM 入力映像をキャプチャして静止画ファイルとして保存したり、また保存したファイルをカメラ映像の代わりに使用、あるいは MBP-100CK に保存されている静止画像を出力することが可能です。

本メニューは STILL メニューと CAPTURE メニューの二つの画面からなります。

### ◆ ディレクトリ表示

STILL、CAPTURE 両画面ともにそれぞれの専用ディレクトリ (MBP-100CK 内) が表示されます。ここではそのディレクトリ表示について説明します。



- ① 現在のディレクトリが表示されます。
- ② 親ディレクトリ表示です。選択すると一つ親のディレクトリに移動します。(ルートディレクトリのときは非表示)
- ③ サブディレクトリ表示です。選択するとサブディレクトリに移動します。
- ④ 現在のディレクトリに存在する画像ファイルをサムネイル付きで表示します。
- ⑤ 画像のサイズを表示します。
- ⑥ 画像の保存日を表示します。
- ⑦ 画像の保存時間を表示します。
- ⑧ 画像のファイル名を表示します。
- ⑨ スクロールバーです。ディレクトリ内に複数の静止画ファイルが存在する場合、操作して内容表示を変更します。(前面パネルの右中つまみに連動します。)
- ⑩ ルートディレクトリ (MBP-100CK 内 MBP-12Server にて設定) に戻ります。
- ⑪ 現ディレクトリの一階層上のディレクトリに戻ります。(ルートディレクトリが最上段になります。)
- ⑫ 右中つまみで⑨をスクロールする際、スクロールの移動量を PAGE 単位 (3 ファイル) とするか ITEM 単位 (1 ファイル) とするか設定します。尚、PAGE 単位の場合はボタン表記が“PAGE”となり、ボタンが緑点灯となります。
- ⑬ 画像出力ボタンです。選択されているファイルを映像出力します。(STILL メニュー時は STILL OUT に、CAPTURE メニュー時は CAM 出力と CK 素材に出力します。)

## 5-7-1. STILL メニュー

STILL に出力される静止画を選択する画面です。



### ① 参照ディレクトリをルートに戻す

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	MBP-12SERVER で設定された STILL 保存ディレクトリのルートディレクトリに戻ります。(現在のディレクトリがルートディレクトリの場合は無効となります。)

### ② 参照ディレクトリの一つ上の親ディレクトリに戻す

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	現在のディレクトリの一つ上の親のディレクトリに移動します。(現在のディレクトリがルートディレクトリの場合は無効となります。)

### ③ 参照ディレクトリが表示されます

操作	動作
右中つまみを回す	表示範囲、および選択対象を変更します。現在の選択対象は橙色背景で表示されます。
右中つまみを押す	選択対象が <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 親ディレクトリへのリターン表示 一つ上の親のディレクトリに移動します。</li> <li>◇ サブディレクトリ表示 サブディレクトリに移動します</li> </ul>

### ④ スクロール単位切替えボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	スクロール単位を「ITEM」 ↔ 「PAGE」間で切替えます。
右中つまみを長く押す	上記動作と同じ

### ⑤ 画像ファイル出力ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	参照ディレクトリ内で選択したファイルを STILL 映像として出力します。出力の際には確認のメッセージが表示され「OK」を選択すると出力決定されます。
右下つまみを押す	上記動作と同じ

⑥ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「CAPTURE」メニューを開きます。

⑦ TOPメニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑧ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「CAPTURE」メニューを開きます。

⑨ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-7-2. CAPTURE メニュー

CAM 入力されている映像のキャプチャや保存されている静止画をクロマキー素材として出力する際に使用します。



① キャプチャした画像のサムネイルが表示されます。

操作	動作
サムネイルをタッチする	現在の CAM 入力映像をキャプチャし、サムネイル表示します。
左上つまみを押す	上記動作と同じ
サムネイルを 2 秒以上タッチしたあと離す	キャプチャされた画像を②で表示された名前で現在のディレクトリに保存します。 同名ファイルもしくはフォルダが既に存在する場合は保存せず、ワーニングメッセージを表示します。名前を変更して保存し直してください。
左上つまみを長く押す	上記動作と同じ

② 保存するファイル名を表示します

操作	動作
左中つまみを押す	MBP-12RU の命名規則に従って名前を自動変更します。 (時刻部分の更新)
ボックスをタッチする	上記動作と同じ
左中つまみを長く押す	文字列入力パネルを開き、名前を変更します。
ボックスを2秒以上タッチした後離す	上記動作と同じ

\*RU の命名規則は以下のようになっています

命名文字列 = IMAGE\_#\$\$%

#: 現在の月

\$\$: 現在の日

%%: 時刻 (時分秒) (電源起動後 STILL&CAPTURE メニューを最初に開いた時刻)

③ クロマキーの素材切替え

クロマキーの素材を CAM 入力端子からの映像とするか、静止画ファイルからの映像とするか切替えます。

操作	動作
左下つまみを押す	クロマキー素材の切替え ◇ INT (ボタンが緑) クロマキーは静止画ファイルを素材とします。 ◇ EXT (ボタンが青) クロマキーは CAM 入力を素材とします。

④ 参照ディレクトリをルートに戻す

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	MBP-12SERVER で設定された CAPTURE ファイル保存ディレクトリのルートディレクトリに戻ります。(現在のディレクトリがルートディレクトリの場合は無効となります。)

⑤ 参照ディレクトリの一つ上の親ディレクトリに戻す

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	現在のディレクトリの一つ上の親のディレクトリに移動します。(現在のディレクトリがルートディレクトリの場合は無効となります。)

⑥ 参照ディレクトリが表示されます

操作	動作
右中つまみを回す	表示範囲、および選択対象を変更します。 現在の選択対象は橙色背景で表示されます。
右中つまみを押す	選択対象が ◇ 親ディレクトリへのリターン表示 一つ親のディレクトリに移動します。 ◇ サブディレクトリ表示 サブディレクトリに移動します。

⑦ スクロール単位切替えボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	スクロール単位を「ITEM」↔「PAGE」間で切替えます。
右中つまみを長く押す	上記動作と同じ

⑧ 選択ファイルの出力

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	③の設定が“INT”のとき、選択したファイルをクロマキーの素材静止画として出力します。
右下つまみを押す	上記動作と同じ

⑨ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「STILL」メニューを開きます。

⑩ TOPメニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

⑪ 設定メニューの移行

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「STILL」メニューを開きます。

⑫ メニュー移行ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押されたボタンが表記しているサブメニューへ移動します。

## 5-8. EVENT メニュー

MBP の設定データ（イベント）の閲覧、ロード、セーブ、削除、名前変更を行うメニューです。イベントは MBP-12RU には保存されません。MBP 本体が実装されている PC に保存されます。



- ① イベントのリスト表示です。③で選択されたイベントとその前3個、後3個のイベントがリスト表示されます。

操作	動作
左中つまみを回す	選択イベントとその前後3個ずつのイベントが表示されます。データが保存されているイベントは青背景に白文字で、保存されていないものは黒背景に灰文字で表示されます。

- ② 選択されたイベントの名前を変更します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	名前を入力する為のパネルが表示され、パネルで入力決定した名前に変更されます。
左上つまみを押す	同上

- ③ SAVE や LOAD、DELET、RENAME を行うイベント番号を指定します。

操作	動作
左中つまみを回す	イベント番号を選択します。(1-100)
左中つまみを押す	選択イベントを「1」にリセットします。
GUI上の数値ボックスを押す	数値入力パネルが表示され、パネルで入力した値が反映されます。

- ④ 現在選択されているイベントに保存されているデータの TV FORMAT ステータスが表示されます。

操作	動作
変更不可	選択イベントの TV FORMAT が表示されます。“NOT SET”と表示されたイベントは保存されていないイベントとなります。

- ⑤ 現在の設定データを選択されたイベントに保存します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	選択されているイベントに現在の設定データを保存します。 保存の際 “Do you want to save EVENT No*?” とメッセージが表示され、 <b>OK</b> を押すと実行されます。
右上つまみを押す	同上

- ⑥ 選択されたイベントが保存しているデータをクリアし、イベントを未保存状態にします。  
(保存済みのイベントでのみ有効)

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	選択されているイベントをクリアします。 クリアの際 “Do you want to delete EVENT No*?” とメッセージが表示され、 <b>OK</b> を押すと実行されます。
右中つまみを押す	同上

- ⑦ 現在の設定データに選択されたイベントがもつ設定データを反映します。(保存済みイベントでのみ有効)

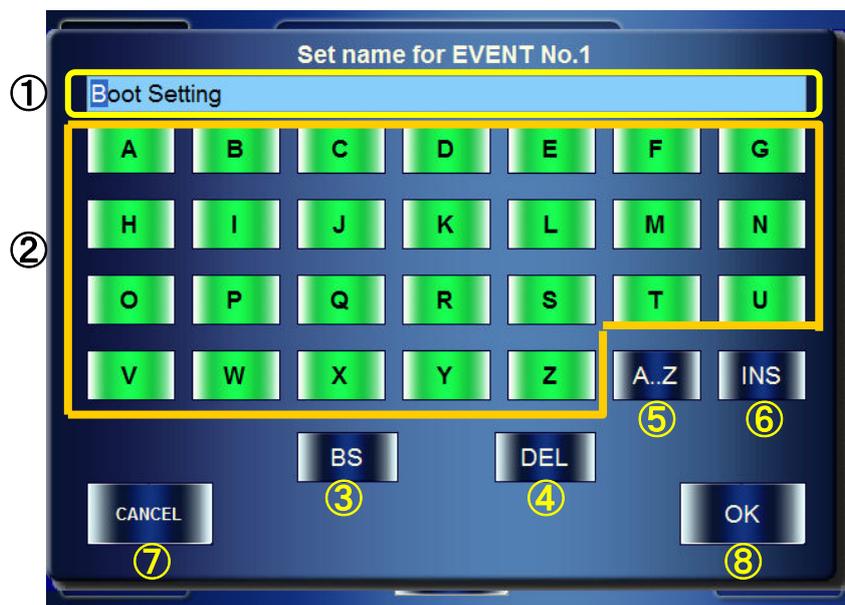
操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	現在の設定データに選択されているイベントのデータを反映します。 読み込みの際、 “Do you want to load EVENT No*?” とメッセージが表示され、 <b>OK</b> を押すと実行されます。
右下つまみを押す	同上

- ⑧ TOPメニューに戻る

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	「TOP」メニューに戻ります。

## 5-8-1. 文字列入力パネル

EVENT 名の変更、パスワード入力、ファイル名入力時に表示され、文字列を入力することができます。



① 入力中の名前が表示されます。現在のカーソル位置(入力位置)は青背景に反転します。

操作	動作
左上つまみを回す	カーソル位置を移動します。
左上つまみを押す	カーソル位置の1文字を削除します。
左上つまみを長く押す	表示されている文字列全体を削除します。
右上つまみを回す	カーソル位置の文字を切替えます。 文字はA-Z,a-z,0-9,-,_,スペースと切替わっていきます。
右上つまみを押す	②で表示される文字列群がA-Z→a-z→0-9と切替わります。

② 文字選択ボタン

これらのボタンを使用して文字を入力していきます。各ボタンに表記されている文字が①の現在のカーソル位置に入力されます。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	ボタンに表記された文字が現在のカーソル位置に入力されます。

③ カーソル直前の文字を1文字削除します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	カーソル直前の1文字が削除されます。

④ カーソル位置の1文字を削除します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	カーソル位置の1文字が削除されます。

⑤ ②に表示されている文字群のセットを変更します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	②に表示される文字群が“A-Z”→“a-z”→“0-9、-、_、スペース”と切替わります。

⑥ カーソル位置の文字入力モードを挿入モードか上書きモードか変更します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	入力モードを変更します。 ボタン色 緑：挿入モード ボタン色 青：上書きモード

⑦ 名前の変更をキャンセルします。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	文字列入力をキャンセルし、名前入力パネルを閉じます。(イベント名は変更されません。)

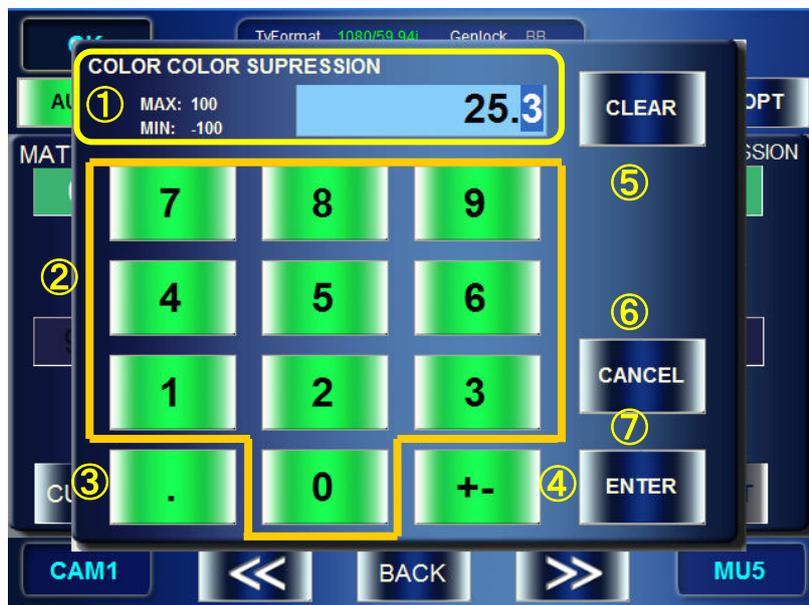
⑧ 名前の変更を反映します。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	文字列変更を決定し、名前入力パネルを閉じます。(本パネルで入力したイベント名に変更されます。)

**注意** 文字列入力パネルが開いているときは前面パネルのボタンは操作できません。

## 5-9. 数値入力パネル

MBP-12RU 上で数値データを変更する方法には、前面パネルに装備されているつまみを利用する方法と、数値ボックスをタッチすることにより表示される数値入力パネルの GUI を利用する方法があります。ここではその数値入力パネルの操作方法を説明します。



- ① 数値入力の為の情報が表示されます。
- パネル左上に設定中のパラメータ名が表示されます。
  - パネル左上に設定可能な最大値「MAX」、と最小値「MIN」が表示されます。
  - MAX (MIN) の数値以上 (以下) の数値が入力されると MAX (MIN) 表示が赤色になり数値ボックス内の数値は MAX 値 (MIN 値) に変わります。

### ② 数値入力ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	押したボタンの数値が設定値の一桁目 (もしくは小数点一桁目) に反映されます。(続けて入力すると、先に入力した数値は上位の桁にシフトします。)

### ③ 小数点選択ボタン

設定中のパラメータが小数点入力可能な値である場合のみ操作可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	ボタンを押す度に数値入力する桁の対象が実数部か、小数部かを切替えます。

### ④ 符号ボタン

設定中のパラメータに負の範囲がある場合のみ操作可能です。

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	ボタンを押す度に設定値の正負を切替えます。

### ⑤ 設定値クリアボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	設定されている値をクリア (0にする) します。

⑥ キャンセルボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	本パネルを閉じます。設定値は変更されません。

⑦ 適用ボタン

操作	動作
タッチパネルでボタンを押す	本パネルを閉じます。本パネルで設定した値が反映されます。

## 6. 仕様および外観図

### 6-1. 仕様

#### インターフェース

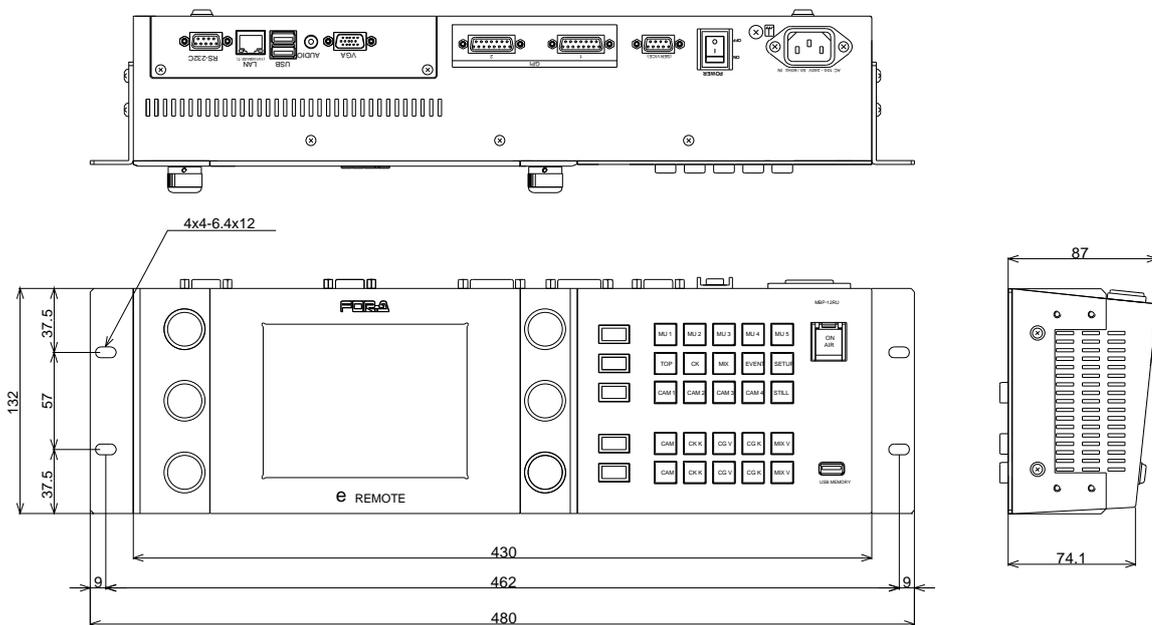
LAN	100BASE-TX RJ-45 1ポート
USB	USB2.0、タイプ A コネクタ、3ポート

その他のコネクタは未使用です。

使用温度	10°C - 40°C
湿度	30% - 90% (結露のないこと)
電源	AC100V - 240V ±10%, 50/60Hz
消費電力	約 25VA (100V)、約 31VA (200V)
外形寸法	430 (W) x 87 (H) x 132 (D) mm, EIA 3RU
質量	約 4 kg
消耗部品	ボタン電池 : CR2032 交換時期 約 5年 (25°C 使用時)

### 6-2. 外観図

(寸法単位 mm)



## MBP-12RU Switch Assign Builder

### ソフト概要

- MBP-12RU の前面パネルボタンのアサインファイルを作成できます。
- MBP-12RU の前面パネルに装備されるバンクインジケータの表示文字を編集できます。  
(アサインファイルに埋め込み)
- MBP-12RU にインストール済み (マウス、キーボードが必要)
- WINDOWS XP ServicePack2 以上の OS がインストールされた PC にインストール可能

### ソフトのインストール

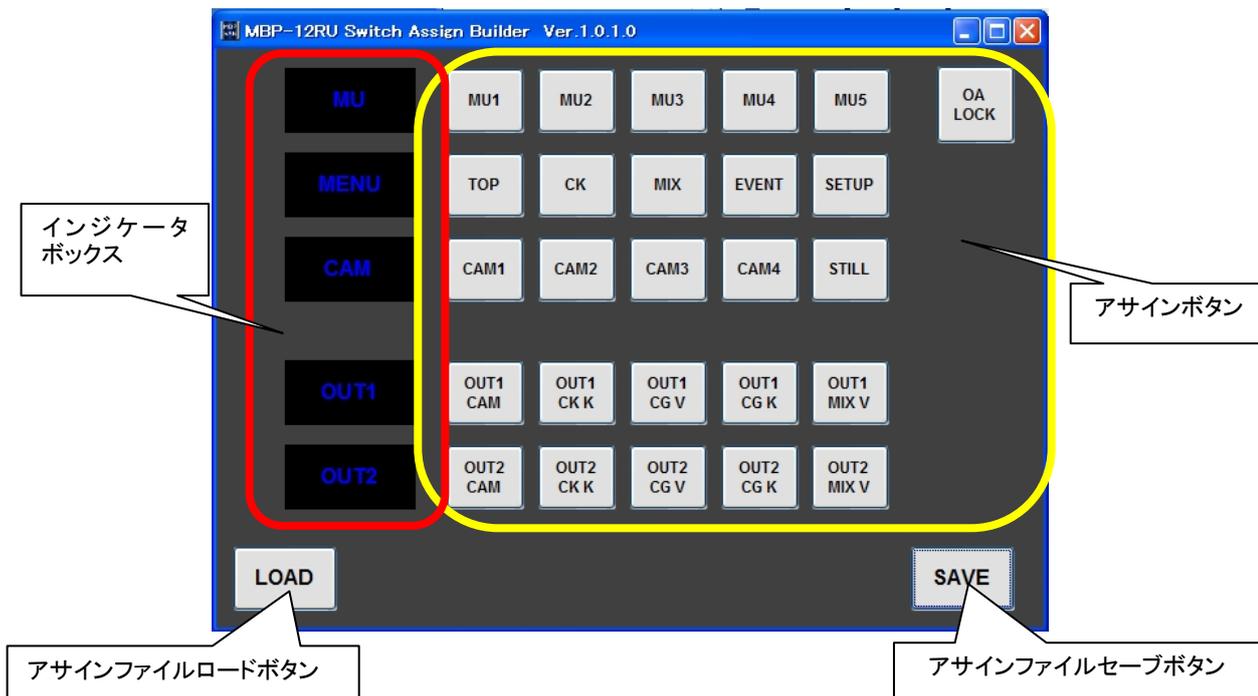
MBP-12RU に標準添付されている MBP-12RU\_SAB インストール CD を使用します。

- 1) CD をインストールするパソコンに挿入します。
- 2) Setup\_Japanese¥setup.exe を実行します。(OS が日本語の場合。日本語以外の場合は Setup\_English 以下を使用してください。)
- 3) セットアップウィンドウに従いインストールしてください。

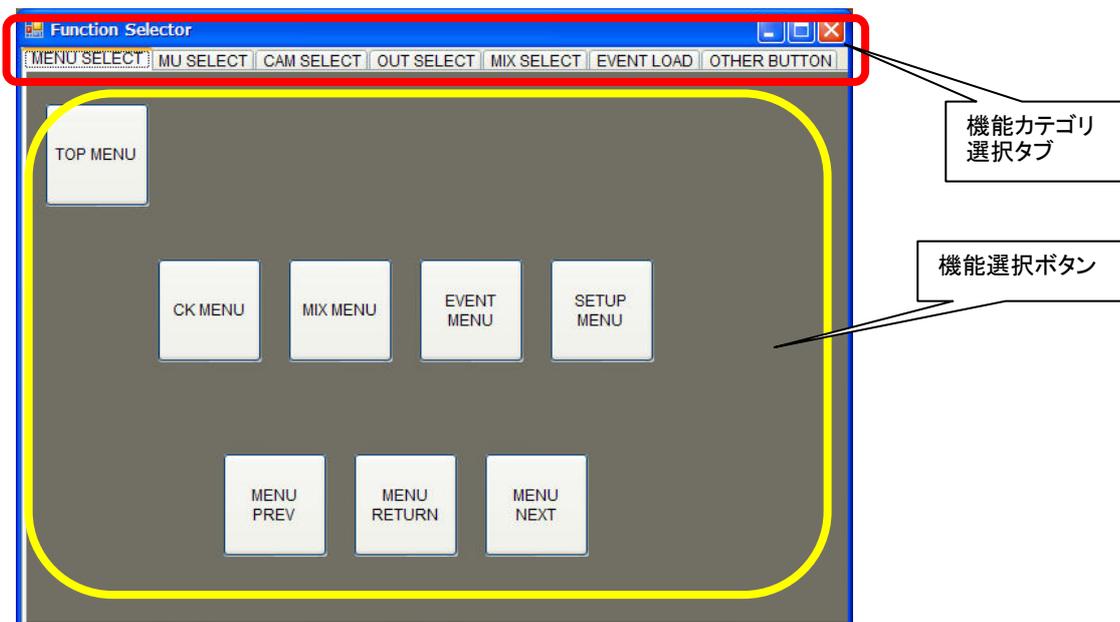
### アサインを変更する

MBP-12RU Switch Assign Builder を立ち上げて実際にアサインを変更します。

- 1) MBP-12RU SAB を立ち上げます。RU の場合はメイン GUI を終了し、デスクトップ上の MBP-12RU フォルダ以下の “MBP-12RU SAB” アイコンをダブルクリックします。RU 以外の PC では “スタート” → “すべてのプログラム(P)” → “FOR-A” → “MBP-12RU\_SAB” → “\*.\*.\*” とたどり “MBP-12RU\_SAB” をクリックしてください。(\*.\*.\* は SAB のバージョン番号) 尚、RU 上で実行する場合は USB マウスおよびキーボードを RU に接続して実行することを推奨します。
- 2) ソフトが起動すると次の画面が立ち上がります。  
画面上のボタンの配置は RU の実際のボタン配置に対応しています。  
“LOAD”、“SAVE” ボタンはアサインファイルの読み込み、保存時に使用します。ソフト起動時のアサインはデフォルトアサインです。



- 3) アサインを変更する。  
アサインボタンのうち変更したいボタンをクリックします。  
クリックすると機能選択用のウインドウが開きます。



- 4) 機能カテゴリタブで目的の機能選択ボタンがあるタブを選択後、機能選択ボタンをクリックします。  
機能選択ウインドウは自動で閉じ、メイン画面に戻ります。  
メイン画面で変更が反映されます。
- 5) インジケータボックスの表示を変更する。  
表示を変更したいインジケータボックスをクリックします。  
キーボードで文字を入力します。(4文字まで)  
使用できる文字は、"a"~"z", "A"~"Z", "0"~"9", "\_", "-", " " (スペース) です。
- 6) インジケータボックスの表示色を変更します。  
変更したいインジケータボックスを右クリックします。ポップアップメニューが表示されますので、色を選択してください。
- 7) 変更するインジケータそれぞれに 3)~6) を実行します。
- 8) 変更が全て終了したら "SAVE" ボタンを押し、アサインファイルをセーブします。  
PC 上で実行している場合は任意の場所にセーブ後、RU の C:\¥MBP-12RU¥DATA 以下にコピーしてください。(USB メモリ等を利用)  
RU 上で実行している場合は C:\¥MBP-12RU¥DATA 以下に保存してください。

## アサインを RU に反映する

前項で作成したアサインファイルを利用して RU のボタンアサインを変更します。

- 1) MBP-12RU の GUI 上で SETUP メニューの RU SETUP メニューで "SW CONFIG" の項目で作成したファイルを指定します。
- 2) GUI を一度終了し、再起動するとボタンアサインが反映されます。(詳細は 5-4-6 を参照)。

尚、ボタンフィルムの変更は RU の電源を切って行ってください。



# ボタンラベル

前面パネルボタンのアサインを変更した際にご使用ください。

CK V	CK V	CK V	CK V	EVENT 1	EVENT 2	EVENT 3	EVENT 4	CG2 V	CG2 V	CG2 V	CG2 V
MIX K	MIX K	MIX K	MIX K	EVENT 5	EVENT 6	EVENT 7	EVENT 8	CG2 K	CG2 K	CG2 K	CG2 K
CAM	CAM	CK K	CK K	EVENT 9	EVENT 10	EX LOCK	OP LOCK	V1 IN V	V1 IN V	V1 IN V	V1 IN V
CG V	CG V	MIX V	MIX V	L1	L2	L3	L4	V1 IN K	V1 IN K	V1 IN K	V1 IN K
MIX K	MIX K	CK ON	DELAY ON	L1	L2	L3	L4	V2 IN V	V2 IN V	V2 IN V	V2 IN V
MENU NEXT	MENU PREV	MENU RETURN	VIRTUAL	STILL V	STILL V	STILL V	STILL V				
RCG	USER 1	USER 2	USER 3	STILL K	STILL K	STILL K	STILL K				

TOP	CK	EVENT	MIX
SETUP	MU 1	MU 2	MU 3
MU 4	MU 5	CAM 1	CAM 2
CAM 3	CAM 4	CAM	CK K
CG V	MIX V	CG K	CAM
CK K	CG V	MIX V	CG K
STILL			

<input type="text"/>				
<input type="text"/>				
<input type="text"/>				





# 保証書

型名 (製品名)	MBP-12RU
シリアル番号	
ご購入日	
保証期間	<b>ご購入日から 1 年間</b>
ご購入店名	
ご住所	
TEL	
お名前	

保証期間中、通常のお取り扱いにおいて発生した故障は無料修理いたします。  
お取り扱い上の不注意、天災による損傷の場合は実費をいただきます。  
ご自分で修理・調査・改造されたものは、保証いたしかねる場合があります。  
保証期間内に故障の節は本保証書をご提示の上、ご購入店または最寄りの弊社営業所にご用命ください。  
この保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 株式会社 朋栄

本社 〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 3 丁目 8 番 1 号

## サービスに関するお問い合わせは

<b>FOR.A</b> <sup>®</sup> INNOVATIONS IN VIDEO and AUDIO TECHNOLOGY	24h 365 days	サービスセンター <b>03-3446-8575</b>
---	-----------------	---------------------------------

## 株式会社 朋栄

本 社	〒150-0013	東京都渋谷区恵比寿 3-8-1	Tel:03-3446-3121 (代)
関西支店	〒530-0055	大阪市北区野崎町 9-8 永楽ニッセイビル 8F	Tel:06-6366-8288 (代)
札幌営業所	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2011 (代)
東北営業所	〒980-0021	仙台市青葉区中央 2-10-30 仙台明芳ビル	Tel:022-268-6181 (代)
中部・北陸営業所	〒460-0003	名古屋市中区錦 1-20-25 広小路 YMD ビル	Tel:052-232-2691 (代)
中国営業所	〒730-0012	広島市中区上八丁堀 5-2 KM ビル	Tel:082-224-0591 (代)
九州営業所	〒810-0004	福岡市中央区渡辺通 2-4-8 福岡小学館ビル	Tel:092-731-0591 (代)
沖縄営業所	〒900-0015	沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル	Tel:098-860-4178 (代)
佐倉研究開発センター	〒285-8580	千葉県佐倉市大作 2-3-3	Tel:043-498-1230 (代)
札幌研究開発センター	〒004-0015	札幌市厚別区下野幌テクノパーク 2-1-16	Tel:011-898-2018 (代)

その他のお問い合わせは、最寄りの営業所にご連絡ください。